Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX P3

クールピクス P3

使用説明書

商標説明

- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac OS®、QuickTime® は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SD ロゴおよび PictBridge ロゴは商標です。
- 顔認識 AF は Identix®（アイデンティクス社）の技術によるものです。
- D- ライティングは アピカル社の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

アップル・パブリック・ソース・ライセンスについて

本製品に含まれる Apple mDNS ソースコードは、アップル・パブリック・ソース・ライセンスの諸条件によって保護されています。アップル・パブリック・ソース・ライセンスは、http://developer.apple.com/darwin/ から入手可能です。

本ファイルは、アップル・パブリック・ソース・ライセンスバージョン 2.0（以下「ライセンス」といいます）に定め、これに従うオリジナルコードまたはその修正版を含みます。お客様は、ライセンスを遵守しない限り、本ファイルを使用できません。本ファイルを使用する前に http://www.opensource.apple.com/apsl/ からライセンス証書を一部入手し、これをお読みください。

ライセンスに基づいて頒布されるオリジナルコードおよび全ソフトウェアは、明示または黙示を問わず、いかなる保証も伴わず「現状のまま」頒布されます。また、アップルは、本契約により、商品性、特定の目的についての適合性、安居権または第三者の権利を侵害していないことを含みこれらに限られないすべての当該保証を放棄します。ライセンスに基づく権利および制限を管理する特定の条項に関してはライセンス証書をご覧ください。

このたびは、ニコンデジタルカメラ COOLPIX P3 をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラ COOLPIX P3 で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいこと、カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

本文中の表記について

- 本製品（COOLPIX P3）のことを、「このカメラ」と表記している箇所があります。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目は、「　」の中に太字で表記しています。
- カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- SDメモリーカードを略してSDカードと表記しています。
- 液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は、次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⦸ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

バッテリーを取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにバッテリーを取り出すこと

すぐに修理依頼を

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。バッテリーを抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。

発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと
視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1 m 以上離れてください。

警告

指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること
指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと
プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は幼児の手の届かないところに置くこと
ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

発光禁止

内蔵フラッシュの発光部を人体やものに密着させて発光させないこと
やけどや発火の原因になることがあります。

禁止

本機器やACアダプターは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと
内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 注意（カメラについて）

禁止

プラグを抜く

長期間使用しないときは電源（バッテリーや AC アダプター）を外すこと

バッテリーの液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
AC アダプターで使用されている場合には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

使用注意

飛行機内・病院内で使うときは、航空会社・病院の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

⚠ 危険（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

禁止

バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

バッテリーをショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

使用禁止

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX P3 に対応しています。EN-EL5 に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

バッテリーは幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

バッテリーからもれた液が皮膚・衣服へついたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

注意

バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

⚠警告（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

プラグを抜く

すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電源プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

使用禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけたり加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと

電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因になることがあります。

⚠注意（バッテリーチャージャーについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

放置注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

電波に関するご注意

- ●本製品は、（財）テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証および（財）電気通信端末機器審査協会の技術基準適合認定を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

- ●次の場所では、本製品を使用しないでください。

  電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）

  ※2.4 GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

- ●本製品は、技術基準適合認定を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造すること
  - 本製品に印刷してある証明ラベルをはがすこと

- ●本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    ①構内無線局（免許を要する無線局）
    ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

- ●本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。使用周波数は、チャンネル番号を変えて接続先情報を再設定することで変更できます（P.120）。
  - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本使用説明書裏面に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

この無線機器の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用し、干渉距離は約 40 m です。

この機器には、（財）テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されております。

ご確認ください

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターキットなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL5 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーを使用されますと、カメラの充分な性能が出せないことやバッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご購入年月日」および「ご購入店」が記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマー登録は、カスタマー登録カードまたは下記のホームページで行えます。

https://reg.nikon-image.com/

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。万一、無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

●本製品は、米国製暗号ソフトを搭載しているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国 *（キューバ、イラン、北朝鮮、リビア、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しはできませんのでご注意ください。

* 2005 年 11 月現在の禁輸国

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

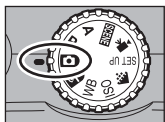
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●カメラやメモリーカードを譲渡／廃棄するときのご注意

メモリー（SDメモリーカード／カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。「**オープニング画面**」の「**撮影した画像**」（P.101）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

各部の名称

モードダイヤル

モードを切り換えるときは、使用するモードのアイコン（絵文字）を左側の ● マークに合わせます。

📷	オート撮影モード（P.26）
P/A	露出モード（P.43）
SCENE	シーンモード（P.35）
🎥	動画モード（P.58）
SET UP	セットアップモード（P.100）

⇐	画質／画像サイズ設定（P.45）
ISO	感度設定（P.47）
WB	ホワイトバランス設定（P.48）
📶	ワイヤレス転送モード（P.111）

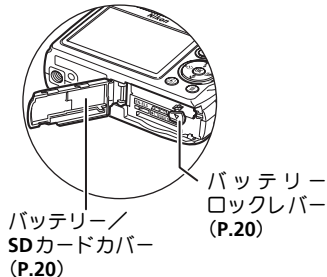
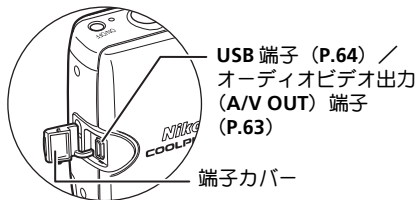
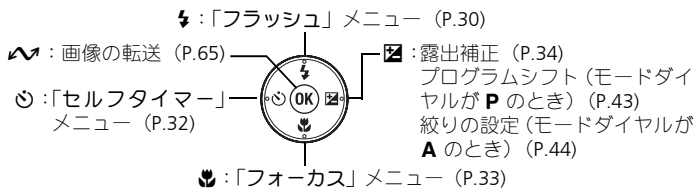
シャッターボタン（P.28）
モードダイヤル（P.14）
VR（手ブレ補正）ボタン（P.50）
アンテナ（P.125）
電源ランプ（P.26）
電源スイッチ（P.26）
フラッシュ（P.30）
ストラップ取り付け部
端子カバー
パワーコネクターカバー
マイク（P.57）
レンズ（P.135、153）
セルフタイマーランプ（P.32）
AF 補助光 LED（P.28、136、153）
撮影確認 LED（P.106）

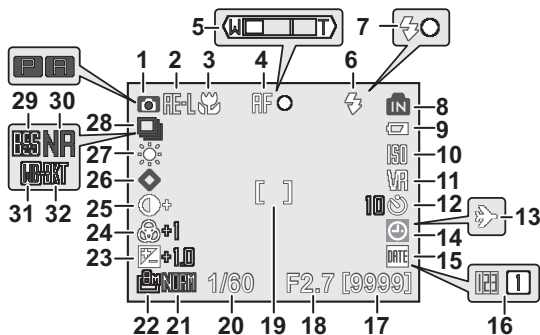
ストラップの付け方

レンズ収納時

レンズカバー

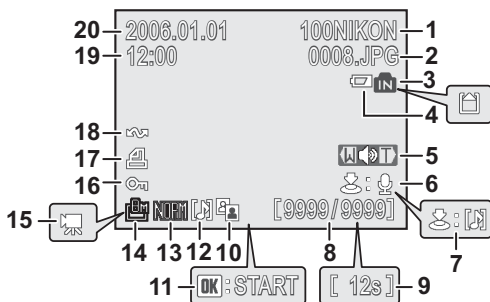
マルチセレクターの使い方

上下左右のボタンで設定する項目や画像などを選び、中央のボタンで決定します。このほか、以下の機能の操作にも使います。

液晶モニターについて

撮影時

図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています。

1 オート撮影モード／プログラムモード／絞り優先モード／シーンモード／動画モード...........26、35、43、60
2 AE-L 表示[1] 42
3 フォーカスモード..................33
4 AF 表示[2] 28
5 ズーム表示[3] 27
6 フラッシュモード..................30
7 フラッシュ表示....................31
8 内蔵メモリー／SD カード表示.......28
9 バッテリーチェック[4] 26
10 ISO 感度表示 47
11 手ブレ補正モード.................50
12 セルフタイマー／カウントダウン表示 32
13 ワールドタイム[5] 102
14 時計マーク[6] 138
15 デート写し込み..................104
16 誕生日カウンター／日付登録番号表示 105
17 記録可能コマ数／動画撮影時間表示 ....60、147
18 絞り値...........................44
19 AF エリア[7] ....28、88
20 シャッタースピード...............43
21 画質.............................45
22 画像サイズ.......................45
23 露出補正マーク／露出補正値.......34
24 彩度調整.........................87
25 階調補正.........................86
26 輪郭強調.........................86
27 ホワイトバランス.................48
28 連写モード.......................82
29 BSS..............................84
30 ノイズ除去.......................90
31 ホワイトバランスブラケティング[8] 85
32 ブラケティング[9] 85

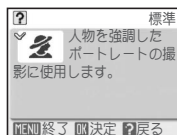
1) パノラマアシスト撮影時に表示
2) 半押ししたときに表示
3) ズーム操作のときに表示
4) バッテリー残量が少なくなったときに表示
5) ワールドタイムで訪問先が設定されているときに表示
6) 日時が設定されていないときに点滅
7) 半押ししたときにピントの合ったエリアを表示
8) ホワイトバランスブラケティングを設定しているときに表示
9) ブラケティングを設定しているときに表示

再生時

図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています。

1	フォルダー名	149
2	ファイル名	149
3	内蔵メモリー／SDカード表示	28
4	バッテリーチェック[1)]	26
5	音量表示	62
6	音声メモ録音ガイド	57
7	音声メモ再生ガイド	57
8	表示画像コマ番号／総画像コマ数	51
9	動画再生時間	62
10	D-ライティング済みマーク	94
11	動画再生表示	62
12	音声メモ表示	57
13	画質	45
14	画像サイズ	45
15	動画モード	60
16	プロテクト表示	96
17	プリント表示	74
18	転送マーク	97
19	撮影時刻	24
20	撮影日付	24

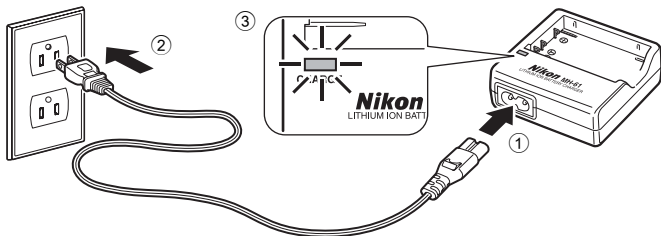
1) バッテリー残量が少なくなったときに表示

ヘルプについて

このカメラでは、操作に関する説明を液晶モニターに表示することができます。各メニュー画面（P.35、58、78）で ❓（ヘルプ）ボタンを押すと、現在選択中の項目に関する説明が表示されます。
ヘルプ画面で Ⓚ ボタンを押すと、その項目が実行、またはその項目の詳細設定の画面が表示されます。

バッテリーを充電する

このカメラには専用 Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池）が付属しています。はじめてご使用になるときや、バッテリーの残量が少なくなったときは、付属の専用バッテリーチャージャー MH-61（充電器）で充分に充電してからご使用ください。

1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

- 電源コードの AC プラグを AC プラグ差込み口に（①)、電源プラグをコンセントに差し込みます（②)。CHARGE ランプが点灯して、通電中であることをお知らせします（③)。

バッテリーチャージャーについてのご注意

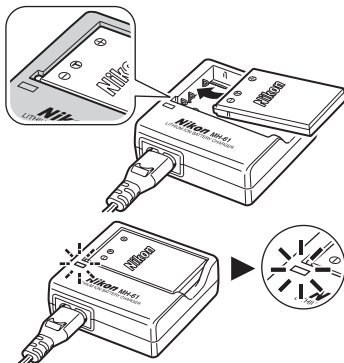
- MH-61 は、ニコン Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 を充電するためのバッテリーチャージャーです。他のバッテリーの充電には使用できません。
- バッテリーチャージャー MH-61 をご使用の際には、「安全上のご注意」の「警告」、「注意」（P.9）の注意事項を必ずお守りください。
- カメラに付属の電源コードは、MH-61 以外の機器に接続しないでください。この電源コードは日本国内専用（AC100V 対応）です。日本国外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。また、ニコンオンラインショップ http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をご使用の前に、「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（P.8 ～ 9）の注意事項を必ずお守りください。
- リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をご使用の際には、「バッテリーの取り扱いについて」（P.137）の注意事項をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくご使用ください。

2 リチャージャブルバッテリーを充電する

- リチャージャブルバッテリーをバッテリーチャージャーにセットします。

- CHARGE ランプが点滅し、充電が始まります。CHARGE ランプが点灯したら、充電が完了です。
- 残量のないバッテリーを充電する場合、約 2 時間かかります。

点滅	バッテリーは充電中です。
点灯	バッテリーの充電が完了しました。
速い点滅	• 指定温度外で使用しています。室温（0 ℃～ 40 ℃）でご使用ください。 • セットしたバッテリーに異常があります。ただちに電源プラグを抜いて充電を中断してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーは販売店やニコンサービスセンターにお持ちください。

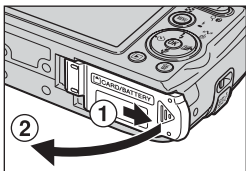
3 充電が完了したら、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜く

- バッテリーチャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

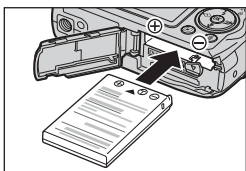
バッテリーを入れる

付属の専用バッテリーチャージャーMH-61で充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5 をカメラに入れます。

撮影の準備

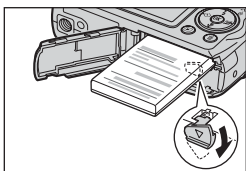
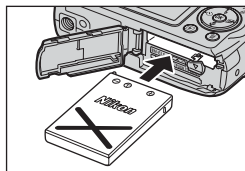
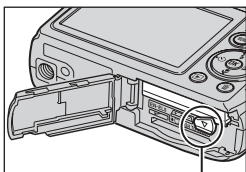
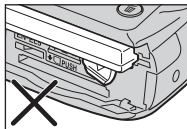
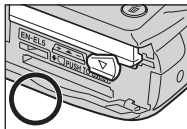
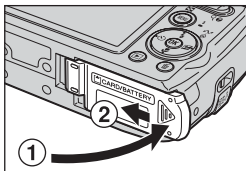
1

バッテリー／SDカードカバーを開ける

- バッテリー／SDカードカバーを矢印の方向にスライドさせ（①）、カバーを開けてください（②）。

2

バッテリーを入れる

- バッテリー室内の図に合わせて、⊕ と ⊖ を正しい向きで入れてください。

逆挿入注意

バッテリーの向きを間違えて挿入すると、カメラが破損するおそれがあります。正しい方向になっているか、再度確認してください。

- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れます。バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かり、バッテリーがロックされたことを確認してください。

バッテリーロックレバー

3

バッテリー／SDカードカバーを閉じる

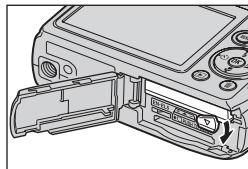
- バッテリー／SDカードカバーを閉じて（①）、カバーをスライドさせます（②）。
- バッテリー／SDカードカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

バッテリー／**SD**カードカバーについて

- バッテリー／SDカードカバーが開いているときは、電源をONにできません。
- 電源がONのときにバッテリー／SDカードカバーを開けると、電源がOFFになり、レンズが収納されます。

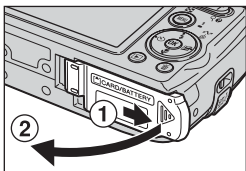
バッテリーを取り出すときは

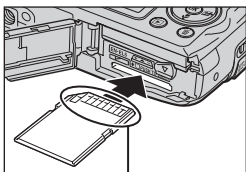
カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認した上で、バッテリー／SDカードカバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し出ますので、バッテリーをまっすぐ引き抜いてください。

- カメラの使用直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

使用できる **AC**アダプター

再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は、別売のACアダプターキットEH-62Aをご使用ください。ACアダプターキットを使用すると、家庭用コンセント（AC100V）からこのカメラへ電源を供給することができます。EH-62A以外のACアダプターは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。

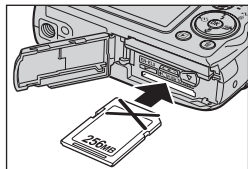
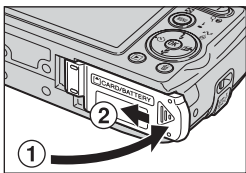
SDカード（市販）を入れる

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 23MB）または市販の SD カードに記録することができます。
カメラに SDカードを入れると、撮影した画像の記録や再生、削除などの操作は、カード内の画像だけが対象になります。内蔵メモリーを使いたいときは、カードを取り出してください。
SDカードを使うための手順は、以下の通りです。

電源が OFF であることを確認してから、バッテリー／SD カードカバーを開ける

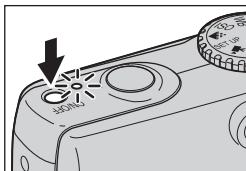
- SDカードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- バッテリー／SD カードカバーを矢印の方向にスライドさせ（①）、カバーを開けてください（②）。

SDカードを入れる

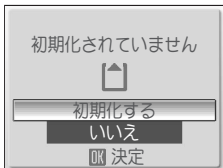
- 図のように差し込み、矢印方向にカチッと音がするまで挿入します。
- 装着するときには、端子側からカメラに挿入してください。

逆挿入注意

向きを間違えて装着すると、カメラおよびSDカードを破損するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。

バッテリー／SDカードカバーを閉じる

- バッテリー／SDカードカバーを閉じて（①）、カバーをスライドさせます（②）。
- バッテリー／SDカードカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

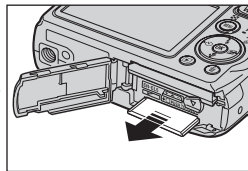
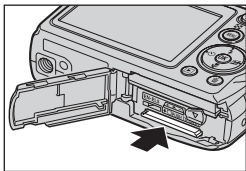
4

電源を ON にする

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。

SDカードを初期化するには

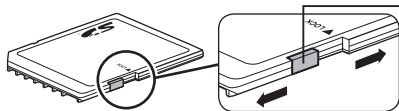
左の画面が表示されたら、マルチセレクターの上を押して「**初期化する**」を選択して OK ボタンを押します。

- 初期化が始まります。初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリーや SDカードを取り出したりしないでください。
- 初期化が完了すると、撮影できます。
- **SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。**

SDカードを取り出すには

カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー／SDカードカバーを開けてください。SDカードを軽く押すと、SDカードが少し出ますので、SDカードをまっすぐ引き抜いてください。

- カメラの使用直後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチがついています。このスイッチを「LOCK」にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像等を保護することができます。画像を撮影・編集・削除するときや、OK（転送）ボタンで転送するとき、ワイヤレス転送モードを使用するとき、SDカードを初期化するときには「LOCK」を解除してください。

表示言語と日時を設定する

はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。以下の手順で設定してください。

設定するときは、マルチセレクターを使います。以下の説明では、各ステップで操作するボタンを、白色で示しています。

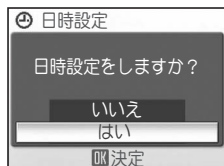
例：㊗ ボタンを押す

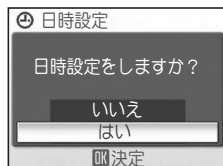
1

液晶モニター上に、上の画面が表示されたことを確認する

2

言語を選ぶ

3

言語を設定して、「日時設定」画面に移る

4

「はい」を選ぶ

「ワールドタイム」画面に移る

- 夏時間（サマータイム）制が実施されている地域でお使いになる場合は、次ページの「夏時間についてのご注意」をご覧ください。

6

「自宅の設定」画面に移る

自宅のある地域を選ぶ

8

「日時設定」画面に移る

- 選択されている部分が点滅します。

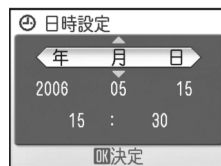
「年」を合わせる

10

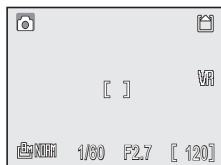
「月」の設定に移る

「月」を合わせる

- 以下、ステップ 10、11 と同様の手順で、分単位まで時刻を合わせてください。

12

「年月日」の表示順の設定に移る

「年月日」の表示順を選ぶ

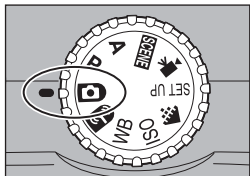
14

設定が有効になる

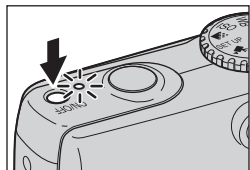
夏時間についてのご注意

サマータイム（夏時間）制が実施されている地域でお使いになる場合は、P.24 のステップ 5 の画面でマルチセレクターの下を押して「**夏時間**」を選び、OK ボタンを押してください。「**夏時間**」の前にあるチェックボックスがオンになり、時刻が 1 時間進みます。

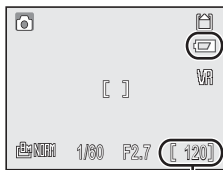
（オート撮影）モードで撮影する―カメラまかせの簡単撮影

モードダイヤルを （オート撮影）に合わせると、シャッターボタンを押すだけの簡単な操作で、さまざまな状況での撮影を楽しむことができます。以下のステップ 1 ～ 4 の手順で撮影してください。

ステップ **1.** （オート撮影）モードを選択する

1 モードダイヤルを に合わせる

ステップ **2.** 電源を **ON** にする

2.1 電源スイッチを押す

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。

2.2 バッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリーチェック

記録可能コマ数

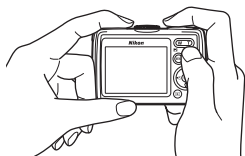
表示なし	バッテリーは十分に残っています。
	バッテリーが残り少なくなりました。 続けて撮影する場合は、バッテリーを充電してください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電してください。

電源を OFF にするには

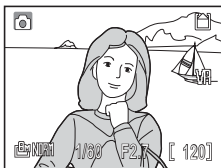
電源を OFF にするときは、電源スイッチを押して、電源ランプが消灯したことをご確認ください。

記録可能コマ数：**P.147**

ステップ 3. カメラを構え、構図を決める

3.1

カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ発光部、AF 補助光部、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

3.2

構図を決める

- 写したいもの（被写体）を液晶モニターの中央付近に合わせます。

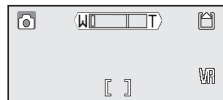
簡単な撮影と再生

ズームの使い方

ズームボタン（**W・T**）を押すと光学ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

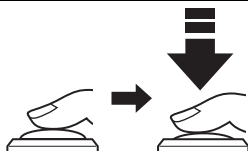
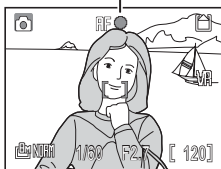
- 広い範囲を写したいときは **W** ボタンを、被写体を大きく写したいときは **T** ボタンを押します。
- 光学ズームを最も望遠側にして、さらに **T** ボタンを約2秒以上押し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（3.5 倍）の約 4 倍（合計 14 倍）まで拡大することができます。ただし電子ズームはデジタル処理を行って画像の中央部を画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。
- 液晶モニター上部にズーム位置が表示されます。電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。
- 電子ズームをキャンセルする場合は、ズーム表示が白色に戻るまで **W** ボタンを押し続けてください。

広角側

望遠側

オートパワーオフ機能

電源が ON の状態で、何も操作しないまま約 1 分（初期設定）経過すると、バッテリーの消耗を抑えるため、待機状態に入ります。待機状態では、液晶モニターが消灯し、電源ランプは点滅します。シャッターボタンを半押しすると、電源 ON の状態に戻ります。待機状態のまま何も操作しないでさらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります（P.107、151）。

ステップ 4. ピントを合わせて撮影する

4.1

シャッターボタンを半押しする

- シャッターボタンを軽く押した状態で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が決まり、半押ししている間、ピントと露出が固定されます。
- モードでは、液晶モニターの中央にある被写体にピントが合います。ピントが合うと、AF表示とピントを合わせた AF エリア（[ ]）が緑色に点灯します。AF 表示と AF エリアが赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度半押ししてピントを合わせてください。

4.2

シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所などではフラッシュが発光する場合があります（P.30）。

画像の記録についてのご注意

液晶モニターに が表示されているときや、 または が点滅しているときは、画像の記録中です。SDカードやバッテリーなどを取り外さないでください。画像が記録されない場合や、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れる場合があります。

AF 補助光について

被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、AF補助光が自動的に被写体を照らしてピントを合わせやすくします（P.106）。

オート撮影モードで使用可能な機能について

オート撮影モードではフラッシュ、セルフタイマー、フォーカス、および露出補正の設定ができます（P.30、32、33、34）。また、モードダイヤルを に合わせると、「**画像モード**」（「**画質**」と「**画像サイズ**」）を変更できます（P.45）。

オートフォーカスが苦手な被写体：**P.149**

撮影した画像を確認する

▶ ボタンを押す

- 撮影した画像が表示されます。
- マルチセレクターの左（または上）で前の画像を、右（または下）で次の画像を見ることができます。ボタンを押し続けると、画像を早送りできます。
- 画像の表示を切り換えた直後は、表示が粗くなることがあります。
- 撮影に戻る場合は､もう一度 ▶ ボタンを押してください。

画像を削除する

削除する画像を表示して、🗑 ボタンを押す

- 削除確認画面が表示されます｡「**はい**」を選択して OK ボタンを押すと、その画像が削除されます。
- 削除するのをやめたいときは､「**いいえ**」を選んで OK ボタンを押してください。
- 撮影モードで 🗑 ボタンを押すと､最後に撮影した画像が削除できます。

▶ ボタンによる電源 **ON** について

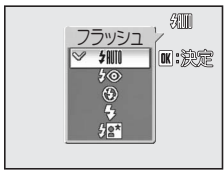
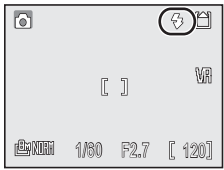
電源が OFF の状態で、▶ ボタンを 1 秒以上押し続けると、再生モード（P.51）で電源が ON になります。もう一度 ▶ ボタンを押すと､モードダイヤルに対応した画面に切り替わります。

フラッシュの使い方

撮影状況に合わせて 5 種類のフラッシュモードを選択できます。

モード	機能	使用場面
自動発光（初期設定）	被写体が暗い場合にフラッシュが自動的に発光します。	• 一般的なフラッシュ撮影をするときに使用します。
赤目軽減自動発光	人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。フラッシュが発光する前にあらかじめ数回少量発光することに加え、カメラが赤目現象を検出すると赤目を画像補正して記録します。	• ポートレート撮影に使用します（撮影の際、フラッシュが少量発光するのをしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	フラッシュの発光を禁止します。	• 暗い場所でも自然光で撮影したいとき、またはフラッシュの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。	• 昼間の屋外撮影などで顔に影がかかるときなどに使用します。
スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。	• 夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに写したいときに使用します。

赤目軽減自動発光について

このカメラは「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。フラッシュが本発光の前に数回小量発光して赤目現象を軽減すると同時に、撮影した画像に赤目部分がある場合は、カメラが自動的に補正します。このとき、画像の記録時間がやや長くなります。
以下のような場合は、他のフラッシュモードで撮影してください。

- シャッターチャンスを優先する撮影
- 撮影状況により望ましい結果が得られない
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合がある

フラッシュの光が充分に届く距離（調光範囲）について

- 広角側：約 0.4 ～ 4.0 m、望遠側：約 0.4 ～ 2.0 m（ISO 感度設定オートのとき）
- 0.4 m よりも近距離側でフラッシュを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニターで画像を確認してください。

フラッシュモードを設定するには

1

「フラッシュ」メニューを表示する

2

フラッシュモードを選択する

3

設定を有効にする

- アイコンが表示されます。
- ⓀⓀ ボタンを押さずに 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

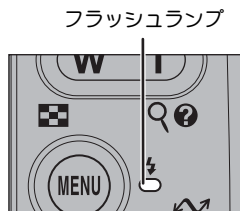
簡単な撮影と再生

フラッシュ使用時のご注意

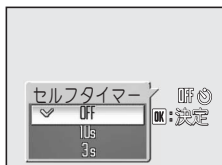
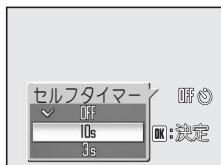
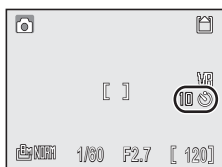
フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまう場合があります。このような場合は、フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にして撮影するか、ズームの望遠側で撮影することをおすすめします。

フラッシュの状態の確認について

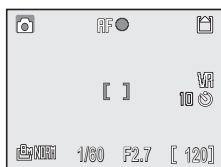
シャッターボタン半押し時に、フラッシュランプもしくは液晶モニターのフラッシュ表示（P.16）によってフラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中のため、撮影できません。
- 消灯：フラッシュは発光しませんが、撮影できます。

セルフタイマーの使い方

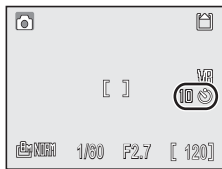
記念撮影など自分も一緒に写りたいときなどに便利です。
セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。

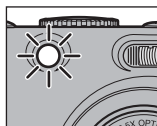
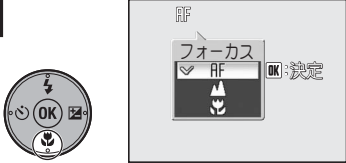
1

「セルフタイマー」メニューを表示する

「10s」（10 秒）または「3s」（3 秒）を選択する

設定を有効にする

- アイコンが表示されます。
- OK ボタンを押さずに 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

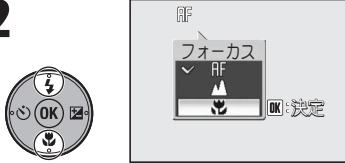
4

構図を決め、シャッターボタンを半押しする

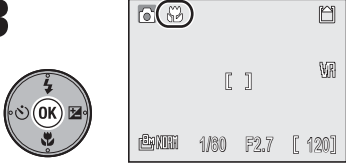
- ピントと露出が合います。

5

シャッターボタンを押し込む

- セルフタイマーが作動し、10 秒後または 3 秒後、自動的にシャッターがきれます。
- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が黄色で表示されます。
- セルフタイマーを停止するには、もう一度シャッターボタンを押してください。

- セルフタイマーが作動すると、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる約 1 秒前から点灯に切り替わります。

フォーカスの使い方

撮影目的に応じて 4 種類のフォーカスモードが選択できます。

モード	内容	使用場面
AF　通常 AF （初期設定）	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。	レンズから 30 cm（ズームのワイドポジション時）以上離れた被写体を撮影するときに使用します。
無限 AF	レンズから 5 m 以上離れた遠景にピントを合わせることができます。	窓越しの景色や風景、建物など、遠くにある被写体を撮影するときに使用します。
遠距離 AF	レンズから 2 m 以上離れた被写体にピントを合わせることができます。	レンズから 2 m 以上離れた被写体を撮影するときに使用します。通常 AF よりも速くピントが合います。モードダイヤルが **P** または **A** のときのみ使用可能です。
マクロ AF	撮影画面のマクロモードアイコン（）が緑色で表示されるワイド側のズーム位置では、レンズ前約 4 cm までの被写体にピントを合わせることができます。	花や虫など小さな被写体の近接撮影に使用します。

1

「フォーカス」メニューを表示する

2

フォーカスモードを選択する

3

設定を有効にする

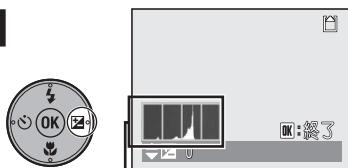
- アイコンが表示されます。
- ⓞⓚ ボタンを押さずに 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

「フォーカス」メニューについてのご注意

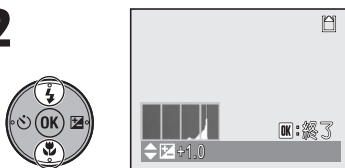
一部のシーンモード（P.35 ～ P.42）では、「**フォーカス**」メニューを設定できません。

露出補正の使い方

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。被写体が極端に明るい、あるいは暗い場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、露出補正の数値を変えることで、画像全体の明るさを調整できます。露出補正値は－ 2.0EV から＋ 2.0EV の範囲で 1/3 ステップごとに補正できます。

1

露出補正設定画面を表示する

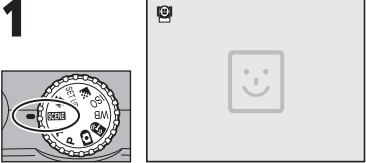
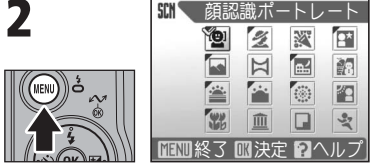
- ヒストグラム（明るさの分布図）と露出補正値が表示されます。

2

露出補正値を設定する

- 構図を決め、ピントを合わせてそのまま撮影できます。
- 露出補正設定画面を終了するには、OK ボタンを押します。

露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。
  被写体が暗すぎるときは補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。
  被写体が明るすぎるときは補正値を「－」側に設定してください。

ヒストグラムについて

明るさの分布を表示します。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

シーンモードについて

撮影状況や被写体に合った 16 種類のシーンモードから選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。そのうち 9 種類には、「**標準**」、「**効果 1**」、「**効果 2**」の 3 種類の効果が選択できる「アドバンストシーン」が用意されています。たとえば、（ポートレートモード）では肌の透明感を出すなど、お好みに合わせて画像の仕上がりが調節できます。

シーンモードを設定するには

1

モードダイヤルを SCENE に合わせる
- 初期設定では （顔認識ポートレート）の画面が表示されます。

2

MENU ボタンを押してシーンメニューを表示する *

3

シーンモードを選択する
- シーンモードの変更をキャンセルする場合は MENU ボタンを押します。

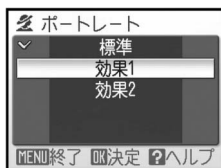
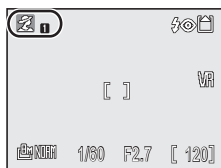
4

OK ボタンを押す
- アドバンストシーン設定画面が表示されます。
- アドバンストシーンがない場合は、シーンモードがセットされ、撮影画面に戻ります。シーンモードのアイコンが撮影画面の左上に表示されます。

* 前回設定したメニュー項目が選択された状態で表示されます。

5

アドバンストシーンを選択する

6

Ⓚ ボタンを押す

- アドバンストシーンがセットされ、撮影画面に戻ります。
- アドバンストシーンを「**標準**」以外に設定したときは、シーンモードのアイコンの横に選択した効果（「1」または「2」）が表示されます。

アドバンストシーンの効果確認について

アドバンストシーンの効果は、撮影時の液晶モニターでは確認できない場合があります。画像を再生して確認してください。

シーンモード一覧

顔認識ポートレート

1 人または 2 ～ 3 人の人物を腰から上のポートレート撮影するのに適しています。カメラが人物の顔（正面）を自動的に認識してピントを合わせます。
操作方法については、41 ページをご覧ください。
「**効果 1**」では、人物の肌に透明感を出します。
「**効果 2**」では、全体の雰囲気をソフトに描写します。
- 電子ズームは使用できません。

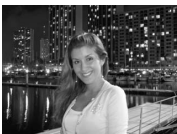
ポートレート

人物の撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。
「**効果 1**」では、人物の肌に透明感を出します。
「**効果 2**」では、全体の雰囲気をソフトに描写します。
- 電子ズームは使用できません。

パーティー

パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど人物の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、手ブレ補正機能の設定（P.50）を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。
「**効果 1**」では、人物と背景ともにくっきりと撮影されます。
「**効果 2**」では、街灯など点状の明かりが放射状に広がり、夜景の描写を際立たせます。
- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常より長くなります。
- 電子ズームは使用できません。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

三脚使用時のご注意

三脚でカメラを固定させて撮影する場合には、手ブレ補正機能（P.50）を OFF にしてください。

シーンモードの設定内容：**P.148**

風景

風景写真を撮影したいときに使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。

「**効果 1**」では、色彩を強調し、風景を鮮やかにくっきりと撮影します。

「**効果 2**」では、空の青を強調します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

パノラマアシスト

複数の画像を、最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。撮影した複数の画像をパソコンに取り込み、PictureProject 付属のパノラマ画像作成ソフト「Panorama Maker」を使用して 1 つの画像に合成する場合に便利です。

操作方法については、42 ページをご覧ください。

- フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードおよび露出補正は 1 コマ目を撮影したときの設定に固定されます。また、ズームも 1 コマ目を撮影したときの条件に固定されます。
- パノラマアシストモードで撮影する場合は、三脚を使用すると組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

夜景

スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

「**効果 1**」では、くっきりとした夜景になります。

「**効果 2**」では、街灯など点状の明かりが放射状に広がり、夜景の描写を際立たせます。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常より長くなります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

夕焼け

赤い夕焼け（朝焼け）を美しく表現します。
「**効果 1**」では、赤を強調します。
「**効果 2**」では、夕焼けや朝焼けを、目で見た印象の色合いに近づけます。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、手ブレ補正機能の設定（P.50）を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

トワイライト（夜明け直前、日没直後）

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中で、風景を美しく表現します。
「**効果 1**」では、青を強調します。
「**効果 2**」では、風景を、目で見た印象の色合いに近づけます。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常より長くなります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

打ち上げ花火

打ち上げ花火を、背景との明暗差を付け、きれいに撮影できます。
「**効果 1**」では、連続的に同時にたくさん上がる花火をきれいに撮影します。
「**効果 2**」では、大きくゆっくり広がる花火を、軌跡を追ってきれいに撮影します。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- 露出補正は使用できません。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

逆光

逆光状態のときに、人物が影にならず美しく撮影することができます。

三脚使用時のご注意

三脚でカメラを固定させて撮影する場合には、手ブレ補正機能（P.50）を OFF にしてください。

クローズアップ（接写）

草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影することができます。
「**効果 1**」では、「**標準**」に比べ鮮やかにくっきりと撮影します。
「**効果 2**」では、背景をぼかし、シャッターチャンスを優先しますので、風に揺れる花の動きを止めたい場合に適しています。

- （クローズアップ）を選択すると、ズーム位置が自動的にワイド側に設定され、液晶モニターのマクロモードアイコン（）が緑色に表示されます。
- ワイド側のズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- ピントを合わせる AF エリアを、マルチセレクターで 99ヵ所から選択できます。
- 手ブレしやすいため、手ブレ補正機能の設定（P.50）を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

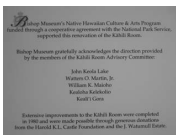
ミュージアム（美術館や博物館）

フラッシュの発光が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。

- 「**BSS**」（P.84）が自動的に「**ON**」になります。シャッターボタンを押し続けると、最大 10 コマの連続撮影を行い、カメラが自動的により鮮明な画像を 1 コマ選択して記録します。
- 美術館、博物館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、手ブレ補正機能の設定（P.50）を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

モノクロコピー（白黒写真、本の複写など）

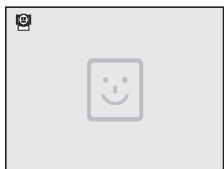
ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

スポーツ

高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの速い被写体をとらえた、躍動感のあるスポーツ写真を撮影したい場合に適しています。

- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを押し続けることにより､約 1.8 コマ／秒で連続撮影が可能になります。ピントと露出、ホワイトバランスは、1 コマ目を撮影した条件に固定されます。

「顔認識ポートレート」モードで撮影する

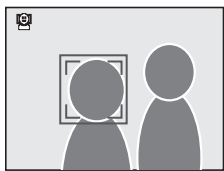
1

シーンメニューで （顔認識ポートレート）を選択して ㊙ ボタンを押す

- 液晶モニターの中央に、カメラが顔を認識する大きさの目安を示すマーク（☺）が点滅します。

2

☺ マークの大きさを目安に人物の顔を合わせる

- 人物の顔が ☺ マークと同じ程度の大きさになると、カメラが顔を認識し、液晶モニターに四角い黄色の二重枠で示します。
- 複数の顔を認識した場合は、カメラに最も近く大きい顔を二重枠で示し、他の顔は一重枠で示します。顔は 3 つまで認識します。
- 被写体が動くなどして顔の部分に枠が表示されなくなった場合は、ステップ 1 の画面に戻ります。

3

シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変ります。

4

そのままシャッターボタンを押し込む

「顔認識ポートレート」（顔認識 AF）について

- カメラは、シャッターボタンの半押しでピントと露出が固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- カメラが人物の顔を認識していない状態では、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- 「顔認識ポートレート」モードで撮影するときは、電子ズーム（P.27）は作動しません。
- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- 次のような場合はカメラが人物の顔を認識できません。
  - サングラスを掛けるなどして人物の顔の一部がさえぎられている。
  - 人物が横を向いている。
  - 被写体との距離が近すぎて顔がアップになっている。
  - 被写体との距離が遠すぎて顔が小さくなっている。

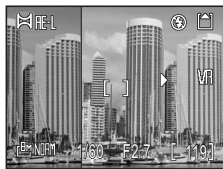
⌛「パノラマアシスト」モードで撮影する

1

シーンメニューで、⌛（パノラマアシスト）を選択する

2

1 コマ目の構図を決める

3

1 コマ目を撮影する

- AE-L アイコンが表示され、撮影した画像の約 1/3 が半透明に表示されます。
- 露出とホワイトバランスが固定されます。

4

2 コマ目を撮影する

1 コマ目の絵柄とつながるように、構図を合わせる

5

3 コマ目以降を撮影する

4 と 5 の手順を繰り返して、必要な画像を撮影します。

6

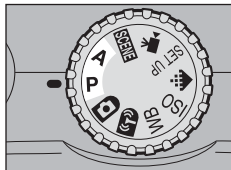
OK ボタンを押してパノラマアシスト撮影を終了する

- モードダイヤルの切り換え、またはオートパワーオフの作動でも、パノラマアシスト撮影は終了します。

パノラマアシストモード撮影のご注意

フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモード、露出補正、ズーム位置は撮影開始前に設定してください。

露出モードを使う

P（プログラムオート）と **A**（絞り優先オート）の 2 種類の露出モードが設定できます。
モードダイヤルを **P** または **A** にセットすると、ISO 感度（P.47）、ホワイトバランス（P.48）、撮影メニュー（P.80）などを、撮影目的や状況に合わせて設定することができます。

モード		内容	こんなときに
P	プログラムオート	適正露出になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値を自動的にセットします。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトも行えます。	ほとんどの撮影状況に適しています。
A	絞り優先オート	設定した絞り値に合わせて、適正露出となるようにカメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	手前から奥まで鮮明に写したり、背景の描写をやわらげたい場合などに使用します。

P プログラムオートの撮影方法

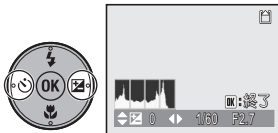
1

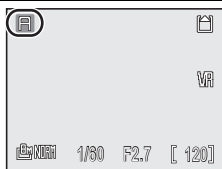
モードダイヤルを **P** に合わせる

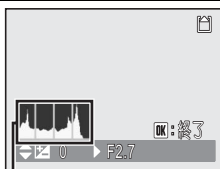
2

構図を決め、ピントを合わせて撮影する

プログラムシフトについて

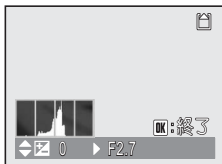
- モードダイヤルを**P**に合わせて、マルチセレクターの右を押すと、露出補正設定画面が表示され、プログラムシフトが可能になります。マルチセレクターの右を押すと高速シャッター側に、左を押すと低速シャッター側にプログラムシフトを行います。プログラムシフトを行った場合、シャッタースピードと絞り値は黄色で表示されます。（白色で表示されているときは、プログラムシフトは行われていません）。
- 撮影画面に戻ると、画面左上の**P**表示の横にプログラムシフトマーク（＊）が表示され、設定したシャッタースピードと絞り値が表示されます。
- プログラムシフトを解除するには、表示が白色になるまでマルチセレクターの右または左を押すか、モードダイヤルを他のモードに切り換えます。電源を OFF にしても解除されます。

A 絞り優先オートの撮影方法

1

モードダイヤルを **A** に合わせる

2

ヒストグラム

露出補正設定画面を表示する

- ヒストグラム（明るさの分布図）と露出補正値が表示されます。

3

絞り値（開放絞り～最小絞り）を設定する

- 絞り値を設定したら、OK ボタンを押して撮影画面に戻ります。

4

構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- **被写体が暗すぎたり、明るすぎたりして、設定した絞り値がカメラの制御範囲を超えている場合：**
  シャッターボタンを半押しすると、絞り値表示が点滅します。この場合は適正な露出が得られませんので、設定した絞り値を変えてください。

絞りとズーム

絞り値（F 値）とはレンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径（レンズの中にある絞りとそこを通る光の関係を数値化したもの）で割った数値のことをいいます。この数値が小さくなるに従って明るくなり、大きくなるに従って暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。このカメラのレンズ（7.5-26.3 mm F2.7-5.3）はズーミングによって絞り値が変化します。望遠側にズームすると絞り値が大きくなり、広角側にズームすると、絞り値が小さくなります。

- モードダイヤルを **A**（絞り優先オート）にセットしたときは、撮影メニューの「**ズーム時 F 値保持**」(P.90）を「**ON**」に設定することにより、この絞り値の変化を最小限に抑えることができます。この場合、「**ズーム時 F 値保持**」が有効になる絞り値の範囲は F5 ～ F7.3 です。
- モードダイヤルを **P**（プログラムオート）にセットしたときは、「**ズーム時 F 値保持**」を「**ON**」に設定しても機能しません。

撮影機能を使いこなす

画質や画像サイズを変更する

画像ファイルの大きさは、撮影時の画質と画像サイズによって決まります。

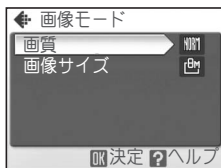
画質

画像を記録する際に、処理を施して画像のファイルサイズを小さくすることを「圧縮」といいます。
このカメラでは、JPEG 形式で圧縮して画像を記録します。カメラで撮影した画像の画質は、圧縮率の設定によって異なります。
圧縮率を高くすると、画質が低下し、細かい部分の再現性は低下します。ただし、ファイルサイズが小さくなりますので、記録できる画像コマ数は増加します。
圧縮率を低くすると、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。ただし、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数は少なくなります。

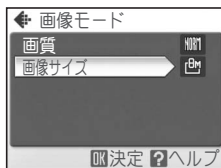
画像サイズ

「画像サイズ」とは、撮影した画像の縦横の大きさのことをいいます。
画像サイズを大きくすると、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数が減少しますが、大きくプリントするのに適しています。
画像サイズを小さくすると、ファイルサイズが小さくなるため、電子メールで送る場合やホームページで使用するのに適しています。
ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントサイズが小さくなります。

画像モードと記録可能コマ数：**P.146**

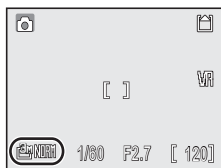
画質と画像サイズの設定方法

モードダイヤルを 画像モード に合わせる

- 「**画像モード**」メニューが表示されます。

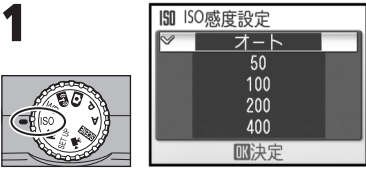
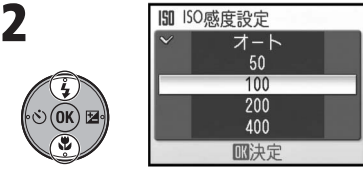
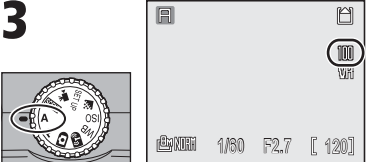
2

「画質」または「画像サイズ」を選択し、OK ボタンを押す

3

「画質」または「画像サイズ」の種類を選択し、OK ボタンを押す

4

モードダイヤルを オート、SCENE、**P**、**A** または 転送（「撮影＆転送」の選択時）のいずれかに合わせる

- 設定した「**画質**」と「**画像サイズ**」が表示されます。

撮影機能を使いこなす

撮影メニュー「画像モード」について

「**画質**」と「**画像サイズ**」は、撮影メニューで設定することもできます。撮影メニューの操作方法については、「撮影メニュー」（P.80）をご覧ください。

ISO 感度を設定する

「ISO 感度」はカメラが光に対して反応する感度を表したものです。感度が高くなれば、ある一定の露出を行うために必要な光の量は少なくなり、より高速のシャッタースピードで撮影することが可能になります。このため、暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的ですが、一方で、撮影した画像にはノイズが出て、粒子が粗くなる場合があります。
モードダイヤルを **P** または **A** にセットしたときの ISO 感度を選択できます。

ISO 感度の設定方法

1

モードダイヤルを ISO に合わせる
- 「**ISO 感度設定**」メニューが表示されます。

2

ISO 感度を選択し、OK ボタンを押す

3

「オート」以外の ISO 感度を設定した場合、モードダイヤルを **P** または **A** のいずれかに合わせる
- 設定した ISO 感度が表示されます。

フラッシュの **ISO 感度連動範囲について**

フラッシュの ISO 感度連動範囲は「**オート**」、「**50**」、「**100**」、「**200**」です。フラッシュを使用するときは（P.30）、ISO 感度を「**オート**」、「**50**」、「**100**」、「**200**」のいずれかに設定してください。「**400**」は自然光での撮影を目的とした感度ですので、おすすめできません。

撮影メニュー「**ISO 感度設定**」について

ISO 感度は、撮影メニューの「**ISO 感度設定**」で設定することもできます。撮影メニューの操作方法については、「撮影メニュー」（P.80）をご覧ください。

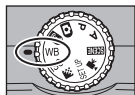
ISO 感度：P.151

撮影機能を使いこなす

ホワイトバランスを設定する

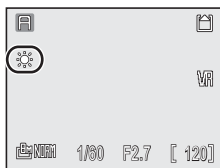
光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の「**オート**」ではとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。モードダイヤルを **P** または **A** にセットしたときのホワイトバランスを選択できます。

ホワイトバランスの設定方法

1

モードダイヤルを WB に合わせる
- 「ホワイトバランス」メニューが表示されます。

2

ホワイトバランスを選択し、OK ボタンを押す

3

「オート」以外のホワイトバランスを設定した場合は、モードダイヤルを **P** または **A** のいずれかに合わせる
- 設定したホワイトバランスが表示されます。

「オート」、「フラッシュ」以外を選択したとき

「**オート**」、「**フラッシュ**」以外のホワイトバランスを選択したときは、フラッシュを ⊛（発光禁止）に設定してください（P.30）。

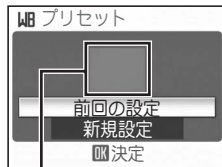
撮影メニュー「ホワイトバランス」について

ホワイトバランスは、撮影メニューの「**ホワイトバランス**」で設定することもできます。撮影メニューの操作方法については、「撮影メニュー」（P.80）をご覧ください。

ホワイトバランス設定：**P.151**

プリセットホワイトバランス

ホワイトバランス設定窓

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。
「**ホワイトバランス**」メニューから「**プリセット**」を選択すると、レンズが望遠側にズーミングして、「**プリセット**」メニューが表示されます。

前回の設定 （初期設定）	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を設定します。撮影時に使用する照明下で、紙などの白い被写体をホワイトバランス設定窓に映します。「**新規設定**」を選択し ⓚ ボタンを押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を設定します。プリセット中はシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

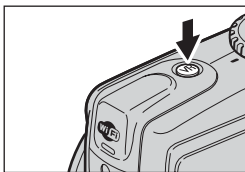
✔ プリセットホワイトバランスについてのご注意

- フラッシュ発光時のホワイトバランス値は設定できません。「**新規設定**」では、フラッシュモードの設定にかかわらずフラッシュは発光しません。
- 「**ブラケティング**」が「**WB-BKT**」に設定されていると、プリセットホワイトバランスを設定することができません。
- モードダイヤルが WB のときにカメラの電源を ON にした場合、「**ホワイトバランス**」メニューで「**プリセット**」を選択し ⓚ ボタンを押すとレンズがくり出します。

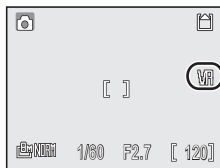
手ブレ補正機能を設定する

撮影者の手の揺れをカメラが検出してレンズを動かすことにより、望遠側での撮影や、夕暮・夜景などの手持ち撮影で起こりがちな手ブレを効果的に補正します。また、撮影画面の画像のブレを補正するため、構図も決めやすくなります。
静止画撮影時だけではなく、動画撮影時の手ブレも補正します。

VR　ノーマル（初期設定）	通常の条件で撮影する場合に適しています。また、カメラが流し撮りの動きを自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。たとえば、横方向に流し撮りを行う場合には縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りを行う場合には横方向の手ブレだけが補正されます。
VR-ACTIVE　アクティブ	車上での撮影など、揺れの激しい条件で撮影する場合に適しています。流し撮りには対応していません。
OFF	手ブレ補正を行いません。

手ブレ補正の設定方法

撮影モードで VR（手ブレ補正）ボタンを押す

- VR（手ブレ補正）ボタンを押すごとに、設定が VR（ノーマル）、VR-ACTIVE（アクティブ）、OFF に切り替わります。

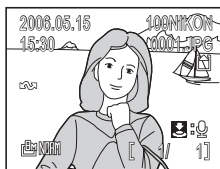
2

画面に手ブレ補正モードのアイコンが表示される

- 手ブレ補正モードのアイコンを確認したら、構図を決め、ピントを合わせて撮影します。
- OFF のときは、アイコンは表示されません。

手ブレ補正機能使用時のご注意

- カメラの電源を ON にした直後は、撮影画面の画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 三脚でカメラを固定させて撮影する場合には、手ブレ補正を OFF にしてください。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できない場合があります。

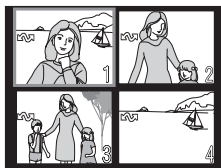
1 コマずつ再生する（1コマ再生モード）

撮影時に ▶ ボタンを押すと、画像が 1 コマずつ再生される「1 コマ再生モード」になります。1 コマ再生モードでは、以下の操作ができます。

操作	ボタン	参照
次の画像を見る		–
前の画像を見る		–
画像を削除する	🗑	P.29
画像を拡大する	Q（T）	P.54
サムネイル再生モードに切り換える	（W）	P.52
再生メニューを表示する	MENU	P.78
音声メモを録音／再生する	シャッターボタン	P.57
静止画表示時： ヒストグラム再生モードに切り換える	OK	P.53
動画表示時： 動画を再生する	OK	P.62
撮影に戻る	▶	–

画像の再生について

- 電源がOFFのときに▶ボタンを1秒以上押し続けると、1コマ再生モードで電源をONにすることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SDカードをカメラから取り出してから、再生してください。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル再生モード）

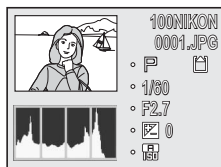
1 コマ再生モード（P.51）で ▦（**W**）ボタンを押すと、画像を 4 コマ、9 コマ、16 コマずつ一覧できる「サムネイル再生モード」になります。サムネイル再生モードでは、以下の操作ができます。

画像を選ぶ	マルチセレクター	–
表示コマ数を切り換える	▦（**W**）または 🔍（**T**）	–
選択中の画像を削除する	🗑	P.29
1 コマ再生モードに切り換える	OK	P.51
再生メニューを表示する	MENU	P.78
撮影に戻る	▶	–

表示コマ数の切り換えについて

サムネイル再生中に、▦（**W**）ボタンまたは 🔍（**T**）ボタンを押すと、4 コマ表示、9 コマ表示、16 コマ表示に切り替わります。
4 コマ表示のときに 🔍（**T**）ボタンを押すと 1 コマ再生モードになります。

再生機能を使いこなす

画像の情報を同時に表示する（ヒストグラム再生モード）

1 コマ再生モード（P.51）で ⓚ ボタンを押すと、ヒストグラムと撮影情報が確認できる「ヒストグラム再生モード」になります。ヒストグラム（P.34）の右側に、以下の撮影情報が表示されます。

- 撮影モード（**P**/**A**）
- シャッタースピード
- 絞り値
- 露出補正値
- ISO 感度

次の画像のヒストグラムを見る	OK	–
前の画像のヒストグラムを見る	OK	–
画像を削除する	🗑	P.29
サムネイル再生モードに切り換える	▦（**W**）	P.52
1 コマ再生モードに切り換える	ⓚ	P.51
再生メニューを表示する	MENU	P.78
撮影に戻る	▶	–

画像を削除する

1 コマ再生モードとサムネイル再生モードで 🗑 ボタンを押すと、右の画面が表示されます。「**はい**」を選んで ⓚ ボタンを押すと、表示中または選択中の画像が削除されます。

- 「[♪]」：音声メモが録音された画像の音声メモのみを削除します（P.57）。[♪] は音声メモが録音された画像のときだけ表示されます。

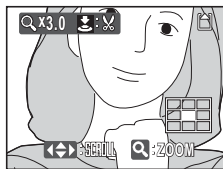
再生機能を使いこなす

画像を拡大する

クイック拡大

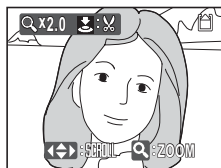
1 コマ再生モード（P.51）で Q（**T**）ボタンを押すと、表示中の画像が約 3 倍に「クイック拡大」されます。

- 画面は縦横 3 画面ずつの大きさに拡大され、液晶モニターには中央の 1 画面が表示されます。
- 現在表示中の範囲は、画面右下に表示されるガイドに示されます。

クイック拡大中は、以下の操作ができます。

拡大表示モードに切り換える	Q（**T**）または ▦（**W**）	P.55
画像の他の部分を表示する	マルチセレクター	–
画像を削除する	🗑	P.29
再生メニューを表示する	MENU	P.78
1 コマ再生モードに戻る	OK	P.51
画像の一部を切り抜く（トリミング）	シャッターボタン	P.56
撮影に戻る	▶	–

拡大表示モード

クイック拡大中に🔍（**T**）ボタンまたは ⊞（**W**）ボタンを押すと、「拡大表示モード」になります。表示倍率を変更することができ、最大約 10 倍まで拡大して表示できます。

- 拡大中は、画面に拡大率が表示されます。

拡大表示中には、以下の操作ができます。

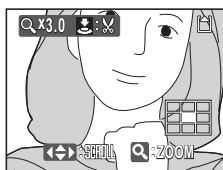
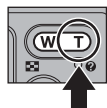
操作	ボタン	参照
拡大する	🔍（**T**）	–
縮小する	⊞（**W**）	–
画面をスクロール（移動）させる	マルチセレクター	–
画像を削除する	🗑	P.29
再生メニューを表示する	MENU	P.78
1 コマ再生モードに戻る	Ⓚ	P.51
画像の一部を切り抜く（トリミング）	シャッターボタン	P.56
撮影に戻る	▶	–

拡大表示できない画像

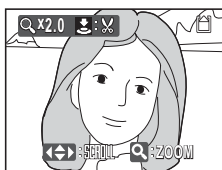
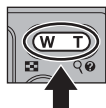
動画（P.60）、スモールピクチャー（P.98）、320 × 240 以下にトリミングされた画像（P.56）は、拡大表示できません。

画像の一部を切り抜く（トリミング）

クイック拡大（P.54）または拡大表示モード（P.55）で マークが表示されている画像は、トリミング（切り抜き）することができます。トリミング画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1

画像を拡大表示する

- （**T**）ボタンを押してクイック拡大します。

2

トリミングする部分を表示する

- （**T**）ボタンまたは （**W**）ボタンで拡大率を調節します。
- マルチセレクターで画像をスクロールし、トリミングしたい部分を表示します。

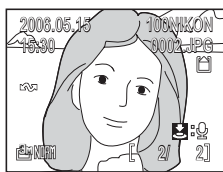
3

シャッターボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4

「はい」を選ぶ

5

トリミング画像が作成される

トリミング画像について

- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - 8M 3264 × 2448
  - 5M 2592 × 1944
  - 3M 2048 × 1536
  - 2M 1600 × 1200
  - 1M 1280 × 960
  - PC 1024 × 768
  - TV 640 × 480
  - 320 × 240
  - 160 × 120

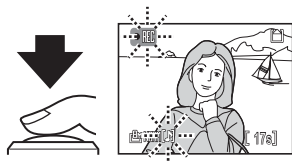
再生機能を使いこなす

画像に音声メモを付ける

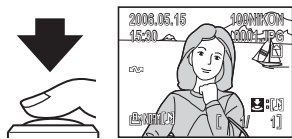
1 コマ再生モード（P.51）で 🎙：🎤 マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像には、カメラのマイクを使って音声によるメモを付けることができます。

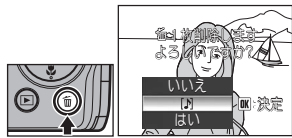
音声メモを録音するには

シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約 20 秒まで音声メモを録音することができます。シャッターボタンから指を離すか、約 20 秒経過すると録音が終了します。

- 録音中は、カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は ●REC が点滅します。

音声メモを再生するには

音声メモが録音された画像を表示して、シャッターボタンを深く押し込むと音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度シャッターボタンを深く押し込むと再生が終了します。

- 音声メモ付きの画像には 🎙：[♪]（音声メモ再生ガイド）が表示されます。
- 再生中、▦（**W**）ボタンもしくは 🔍（**T**）ボタンを押して音量を調整します。

音声メモを削除するには

音声メモが録音された画像を表示して🗑ボタンを押します。「[♪]」を選んで ㊙ ボタンを押すと、音声メモのみが削除されます。

再生機能を使いこなす

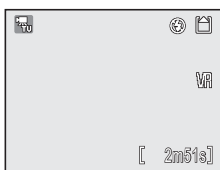
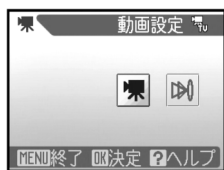
✔ 音声メモについてのご注意

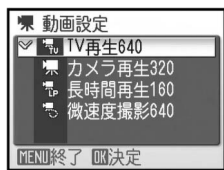
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル名に、音声メモであることを示す拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV）。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。

動画を選択する

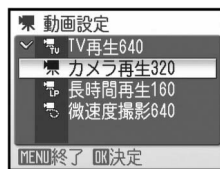
動画設定を選択する

再生の目的に応じて 4 種類の動画モードを選択できます。

モード	サイズ（ピクセル）	フレーム数／秒
TV 再生 640（初期設定）	640 × 480	30
カメラ再生 320	320 × 240	30
長時間再生 160	160 × 120	30
微速度撮影 640	640 × 480	30

モードダイヤルを 📽 に合わせる

MENU ボタンを押して動画メニューを表示する

「動画設定」を選択する

Ⓞ ボタンを押す

- 「動画設定」メニューが表示されます。

5

動画の種類を選択する

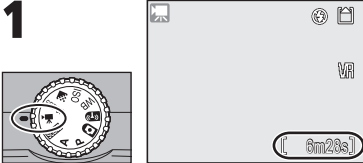
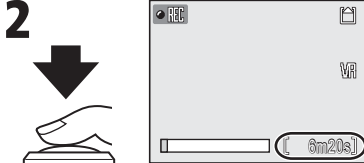
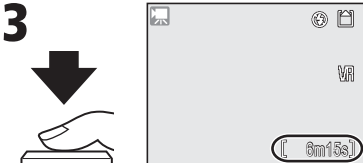
- 1 つ前の画面に戻るにはマルチセレクターの左を押します。

6

Ⓞ ボタンを押す

選択した項目が設定され、動画メニューに戻ります。

MENU ボタンを押す

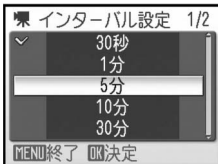
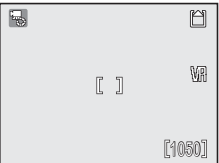
- 動画の撮影画面に戻ります。

AF-MODE を設定する

動画撮影時のオートフォーカスの方式（AF-MODE）を設定することができます。動画メニューで「**AF-MODE**」を選択して、以下の 2 種類からオートフォーカスの方式を選択します。

シングル AF （初期設定）	シャッターボタンを半押ししている間のみ、画面中央の被写体にピント合わせを行い、ピントが合うと AF ロック（P.89）されます。そのまま撮影を開始すると、撮影が終わるまでピントは変わりません。
常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音される場合があります。動作音が気になる場合は、「**シングル AF**」に設定して撮影することをおすすめします。

動画設定と記録可能時間：P.147

動画を撮影する

カメラの内蔵マイクを使って、音声付きの動画を撮影できます。
動画は拡張子が「.MOV」の「QuickTime ムービーファイル」として記録されますので、パソコンに転送して再生することもできます。

1

モードダイヤルを 🎥 に合わせる
- 撮影可能な記録時間が表示されます。

2

撮影を開始する
- ピントは画面中央にある被写体に合います（P.59）。
- 撮影中、●REC が点滅し、記録できる残り時間の目安を確認できます。

3

撮影を終了する
- もう一度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。
- 記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- SDカードの種類によっては、表示された記録時間いっぱいまで撮影できず、「動画記録できません」と表示され撮影を終了する場合があります。終了するまでに撮影された画像は、動画として記録されます。
- 動画の撮影中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- 動画モードでは、次の機能は固定されます。
  - 「**フラッシュ**」（P.30）→微速度撮影以外では ⚡（発光禁止）
  - 「**セルフタイマー**」（P.32）→「**OFF**」
  - 「**ホワイトバランス**」（P.48）→「**オート**」
  - 「**測光方式**」（P.81）→「**マルチパターン**」
- 動画撮影中は、光学ズームを使用できませんが、電子ズームは 2 倍まで作動します（微速度撮影は 4 倍まで）。光学ズームを使用したい場合は、撮影前に操作してください。撮影を始めると、光学ズーム位置は固定されます。
- 手ブレ補正機能（P.50）は「**ノーマル**」のみ使用できます。

「微速度撮影」で撮影する

設定された撮影間隔で静止画像の撮影を自動的に行い、撮影した複数の画像をつなげて画像サイズ 640 × 480 ピクセル、30 フレーム／秒の動画として最長 35 秒間分（1050 フレーム）記録します。音声は録音されません。

「動画設定」メニューを表示して（P.58 のステップ 1 ～ 4）「微速度撮影」を選択し、Ⓞ ボタンを押す

2

微速度撮影の撮影間隔を選択し、Ⓞ ボタンを押す

- 選択した項目が設定され、「**動画設定**」メニューに戻ります。

3

MENU ボタンを押す

- 動画の撮影画面に戻ります。

4

撮影する

- シャッターボタンを押し込んで微速度撮影を開始します。
- もう一度シャッターボタンを押すか、電源ボタンを押すか、▶ ボタンを 1 秒以上押すと、微速度撮影が終了します。
- 内蔵メモリーまたは SD カードの記録容量がなくなるか、1050 フレーム（35 秒間分）撮影すると、微速度撮影が終了します。

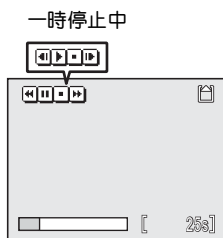
✔ 微速度撮影時についてのご注意

- 微速度撮影時は、途中でバッテリーの残量がなくなると撮影を終了するため、AC アダプターキット EH-62A（別売）のご使用をおすすめします。
- 微速度撮影を開始する前に試し撮りを行い、画像を確認することをおすすめします。
- 微速度撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。

✔ 微速度撮影時のモニター表示について

微速度撮影では、撮影から次の撮影までの間、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。設定した撮影間隔（インターバル）が経過する直前に、液晶モニターが自動的に点灯し、撮影を行います。

動画を再生する

1 コマ再生モード（P.51）で、🎥 アイコンがついている画像を表示し、Ⓞ ボタンを押すと動画を再生できます。
動画再生画面では画面上部に操作アイコンが表示されます。マルチセレクターの左右でアイコンを切り換えてください。

状態	アイコン	内容
再生中	⏪	Ⓞ ボタンを押している間、巻き戻しします。
	⏩	Ⓞ ボタンを押している間、早送りします。最後のフレームまで早送りすると再生が終了します。
	⏸	Ⓞ ボタンを押すと、一時停止します。
	⏹	Ⓞボタンを押すと、動画再生を終了して1コマ再生モードに戻ります。
一時停止中	◀Ⅱ	Ⓞ ボタンを押すと、1 フレーム戻ります。
	Ⅱ▶	Ⓞ ボタンを押すと、1 フレーム進みます。
	▶	Ⓞ ボタンを押すと、再生を再開します。
	⏹	Ⓞボタンを押すと、動画再生を終了して1コマ再生モードに戻ります。

音量を変更するには

動画の再生中（微速度撮影の動画再生は除く）に ▦（**W**）ボタンを押すと音量は小さくなり、🔍（**T**）ボタンを押すと音量は大きくなります。

動画ファイルの削除

🗑 ボタン（P.15）を押すと、削除確認画面が表示されます。「**はい**」を選択し、Ⓞ ボタンを押すと動画ファイルが削除されます。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

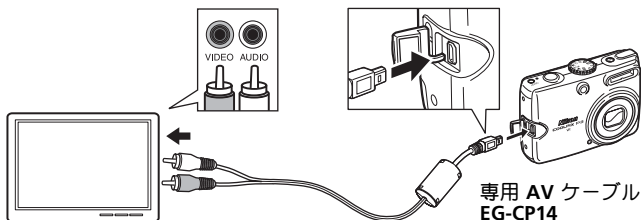
テレビやパソコンで再生するときは、途中でバッテリーが切れることがないように、別売の ACアダプターキット EH-62A をお使いいただくことをおすすめします。

テレビに接続する

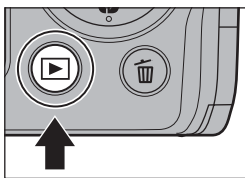
1

お使いのテレビに合わせて、セットアップメニューの「インターフェース」→「ビデオ出力」（P.109）を設定する

2 カメラの電源を OFF にして、付属のオーディオビデオケーブル EG-CP14（以下 AV ケーブル）を接続する

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4

▶ ボタンを 1 秒以上押す

- カメラの電源が ON になり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは消灯したままです。

ビデオ出力について

「ビデオ出力」メニューの「**NTSC**」と「**PAL**」は、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本では NTSC 方式が、欧州では PAL 方式が主流です。

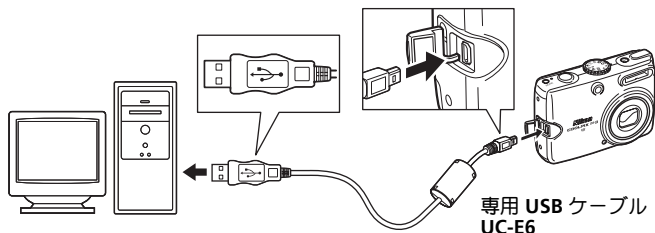
パソコンに接続する

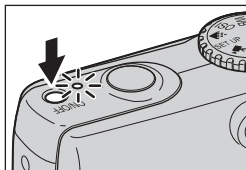
撮影した画像をパソコンに転送して再生するには、付属のソフトウェア「PictureProject」をパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法や画像の転送方法については、簡単操作ガイドやPictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM（銀色）をご覧ください。無線 LAN を使用して、撮影した画像をパソコンに転送し、再生することもできます。詳しくは「無線 LAN による転送」（P.111）をご覧ください。

1 PictureProject がインストールされたパソコンを起動する

2

パソコンの OS に合わせて（P.66）、セットアップメニューの「インターフェース」→「USB」（P.109）を設定する

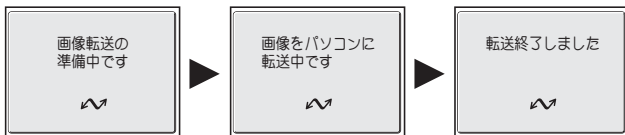
3 カメラの電源を OFF にして、付属の USB ケーブル UC-E6 でカメラとパソコンを接続する

- USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

4

モードダイヤルが 以外であることを確認して、カメラの電源を ON にする

テレビやパソコン、プリンターに接続する

5

OK ボタンを押す

- 転送が始まります。（転送マーク）（P.97）が付いている画像が、パソコンに転送され、PictureProject に表示されます。
- カメラの液晶モニターには以下のように表示されます。

6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

- 詳しくは P.68 をご覧ください。

転送マーク（）について

再生時に マークが付いている画像は、パソコンとの接続時に OK ボタンを押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付くようになっています。転送マークを付けたり外したりするには、以下の 2 通りの方法があります。

- セットアップメニューの「**転送設定**」（P.109）
  これから撮影する画像すべてを対象に、転送マークを付けるかどうかを設定します。
- 再生メニューの「**転送マーク設定**」（P.97）
  撮影済みの画像を対象に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送する

PictureProject の［**転送**］ボタンで画像を転送することもできます。ステップ 5 で、OK ボタンを押す代わりに、PictureProject の［**転送**］ボタンを押してください。この場合、転送マークの有無にかかわらず、すべての画像がパソコンに転送されます。

「USB」の設定について

パソコンの OS に合わせて、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」（P.109）で、USB 通信方式を以下のように設定してください。初期設定は「**PTP**」です。

OS	カメラの OK（転送 ）	PictureProject の [転送] ボタン
	USB 転送方式	
Windows XP Home Edition **Windows XP Professional**	**Mass Storage** または **PTP**	
Windows 2000 Professional **Windows Millennium Edition (Me)** **Windows 98 Second Edition (SE)**	**Mass Storage**	
Mac OS X（10.1.5 以降）	**PTP**	**Mass Storage** または **PTP**

●**Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE を
お使いの方へのご注意**

USB 通信方式は必ず「**Mass Storage**」に設定してください。「**PTP**」（初期設定）でパソコンと接続した場合には、以下の方法でパソコンとの接続を外してください。

Windows 2000 Professional の場合：

［**新しいハードウェアの検索ウィザードの開始**］と表示されますので、［**キャンセル（中止）**］を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Me の場合：

［**ハードウェア情報データベースの更新**］のあとに［**新しいハードウェアの追加ウィザード**］と表示されますので、［**キャンセル（中止）**］を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SE の場合：

［**新しいハードウェアの追加ウィザード**］と表示されますので、［**キャンセル（中止）**］を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

画像転送中のご注意

画像の転送中は、
- USB ケーブルを抜かないでください。
- カメラの電源を OFF にしないでください。
- SD カードを抜き差ししないでください。
- バッテリーや AC アダプターキットの電源コードを抜かないでください。

カメラおよびパソコンが正常に作動しなくなる場合があります。

内蔵メモリーに記録された画像を転送するには

内蔵メモリーに記録されている画像をパソコンに転送する際は、カメラとパソコンを接続する前に、カメラから SD カードを取り出してください。

SD カードに記録された画像を転送するには

- SD カードに記録されている画像をパソコンに転送する場合は、カメラとパソコンを接続する前に、カメラに SD カードを入れてください。
- SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」の位置になっている場合は、カメラの Ⓚ（転送 〜）ボタンは使用できません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。（「LOCK」を解除するとカメラの Ⓚ（転送 〜）ボタンを使用できます。）

カメラとパソコンの接続を外すには

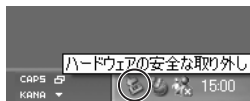
USB 通信方式が「PTP」の場合：

カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：

必ず次の操作を行ってから、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

Windows XP Home Edition/Professional の場合：

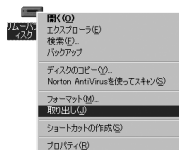
パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして［**USB 大容量記憶装置デバイスードライブ（E:）*** を安全に取り外します］を選択してください。

Windows 2000 Professional の場合：

パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、［**USB 大容量記憶装置デバイスードライブ（E:）*** を停止します］を選択してください。

Windows Me の場合：

パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックして、［**USB ディスクードライブ（E:）*** の停止］を選択してください。

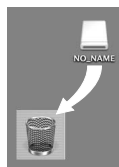
Windows 98SE の場合：

マイコンピュータの中の［リムーバブルディスク］上でマウスを右クリックして［取り出し］を選択してください。

* ドライブ（E:）の「E」はご使用のパソコンによって異なります。

Mac OS X の場合：

デスクトップ上の［**NO NAME**］のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

Mac OS X

テレビやパソコン、プリンターに接続する

プリンターに接続する

PictBridge 対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを USB ケーブルで接続してプリントすることができます（ダイレクトプリント）。

- パソコンに接続してあるプリンターをワイヤレス転送モード（P.111）の接続先として登録し、ダイレクトプリントすることもできます。
- 別売のワイヤレスプリンターアダプターPD-10 を使うと、カメラとプリンターをワイヤレス転送モードで直接接続してダイレクトプリントすることができます。詳しくはワイヤレスプリンターアダプターに付属の使用説明書をご覧ください。

ダイレクトプリントの手順は、以下の通りです。

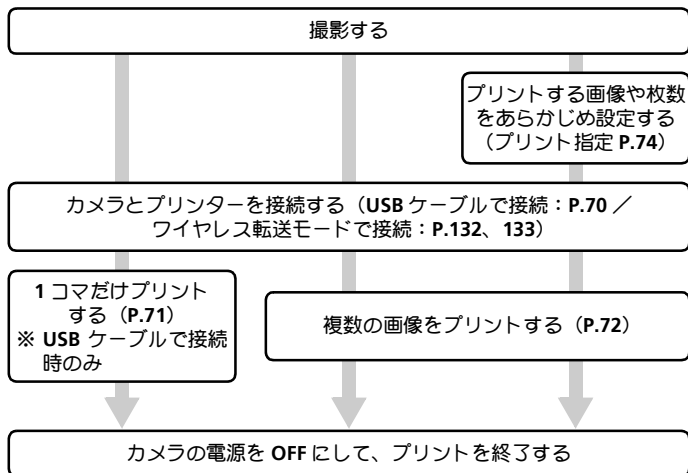
撮影する

プリントする画像や枚数をあらかじめ設定する（プリント指定 **P.74**）

カメラとプリンターを接続する（**USB** ケーブルで接続：**P.70** ／ ワイヤレス転送モードで接続：**P.132**、**133**）

1 コマだけプリントする（**P.71**）
※ **USB** ケーブルで接続時のみ

複数の画像をプリントする（**P.72**）

カメラの電源を **OFF** にして、プリントを終了する

その他のプリント方法について

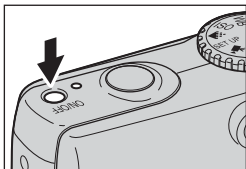
撮影した画像は、以下の方法でもプリントできます。

- SD カードをプリンターのカードスロットに入れてプリントする
  プリンターの使用説明書をご覧ください。DPOF（P.156）対応プリンターなら、事前に「**プリント指定**」（P.74）を行い、指定通りにプリントすることもできます。
- SD カードをプリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼する
  事前に「**プリント指定**」を行った場合は、DPOF 対応のプリントサービス店にお持ち込みください。
- 画像をパソコンに転送してからプリントする
  パソコンへの転送方法については P.64 をご覧ください。パソコンでのプリント方法はお使いになるソフトウェアやプリンターの使用説明書をご覧ください。

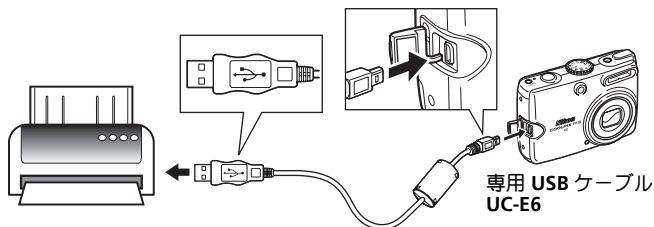
カメラとプリンターを接続する

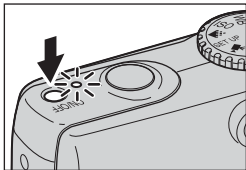
1

セットアップメニューの「インターフェース」→「USB」（P.109）を「PTP」にする

2

カメラの電源を OFF にする

3 プリンターの電源を ON にする

4 付属の USB ケーブル UC-E6 でカメラとプリンターを接続する

- USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

5

カメラの電源を ON にする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに PictBridge オープニング画面表示後、ダイレクトプリントのトップ画面が表示されます。

1 コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（P.70）、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面（P.70）で、プリントしたい画像を選択する

- サムネイル再生モード（P.52）で画像を選ぶこともできます。

2

「PictBridge」メニューを表示する

3

プリント枚数や用紙サイズを設定し、プリントを実行する

マルチセレクターの上下で各項目を選んでから OK ボタンを押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント実行	OK ボタンを押すと、プリントが始まります。 • プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
プリント枚数設定	マルチセレクターの上下でプリント枚数（最大 9 枚）を設定し、OK ボタンを押してください。 •「**PictBridge**」メニューに戻ります。
用紙設定	マルチセレクターの上下でプリントする用紙のサイズを選び、OK ボタンを押してください。 •「**PictBridge**」メニューに戻ります。

PictBridge について

PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずにプリンターで直接印刷するための標準規格です。

用紙設定についてのご注意

「**用紙設定**」メニューでは、「**プリンターの設定**」以外に、「**L**」、「**2L**」、「**ハガキ**」、「**100mm × 150mm**」、「**4 × 6-in**」、「**8 × 10-in**」、「**Letter**」、「**A3**」、「**A4**」のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンターの設定を優先したいときは、「**プリンターの設定**」を選んでください。

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（P.70）、以下の手順でプリントしてください。

1

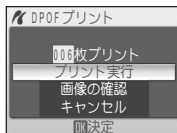
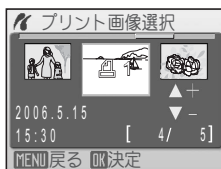
ダイレクトプリントのトップ画面（P.70）で、MENU ボタンを押す

- 「プリントメニュー」が表示されます。

2

プリントする画像や用紙サイズ、プリント方法を設定する

マルチセレクターの上下で各項目を選んで Ⓚ ボタンを押すと、それぞれの画面に移ります。

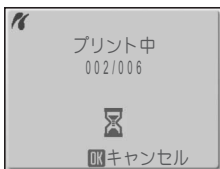
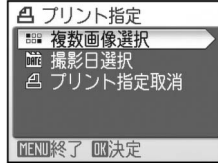
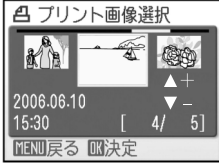
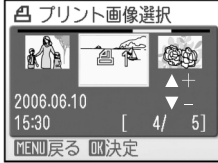
プリント選択	Ⓚ ボタンを押すと、プリントする画像の選択画面に移ります。ステップ 3 にお進みください。
全画像プリント	Ⓚ ボタンを押すとすべての画像が 1 枚ずつプリントされます。プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
DPOF プリント	マルチセレクターの上下で「**プリント実行**」を選んで Ⓚ ボタンを押すと、「**プリント指定**」（P.74）で指定した画像がプリントされます。「**画像の確認**」を選んで Ⓚ ボタンを押すと、確認画面が表示されます。ステップ 4 にお進みください。
用紙設定	画像をプリントする用紙サイズを設定します（P.71）。

3

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（9 枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、🖶 マークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、🖶 マークが消え、その画像はプリントされません。
- マルチセレクターの左右で画像を選び、上下でプリント枚数を設定します。詳しい操作方法については P.75 をご覧ください。

4

確認画面が表示される

画像を選び直したいときは、MENU ボタンを押してください。ステップ 3 の画面に戻ります。

5

プリントが始まる

- プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、OK ボタンを押してください。

プリントする画像や枚数をあらかじめ設定する（プリント指定）

DPOF（P.156）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ指定することができます。撮影日時や撮影情報をプリントすることもできます。

複数画像選択	選択した画像にプリント指定を設定します。
撮影日選択	選択した撮影日の全画像にプリント指定を設定します。
プリント指定取消	すべてのプリント指定を解除します。

選択した画像にプリント指定を設定する

1

再生メニュー（P.91）で「プリント指定」を選択し、Ⓞ ボタンを押す

2

「複数画像選択」を選択し、Ⓞ ボタンを押す

プリントしたい画像を中央に表示させる

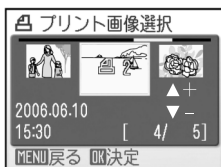
4

マルチセレクターの上を押して、プリント指定を設定する

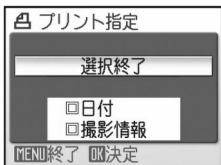
- 設定された画像には 1（枚数）と アイコンが表示されます。

プリント指定を取り消したいとき

「**プリント指定取消**」を選択すると、すべてのプリント指定を取り消します。

5

必要に応じて、プリントする枚数を変更し、OK ボタンを押す

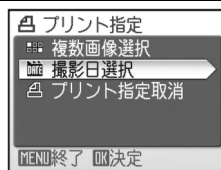
- マルチセレクターの上（+）を押すとプリント枚数は増加し（最高 9 枚）、マルチセレクターの下（−）を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 のときにマルチセレクターの下（−）を押します。
- ステップ 3 〜 5 を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。

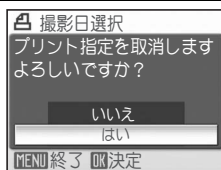
6

マルチセレクターでプリント時に印字する情報を必要に応じて選択する

- 選択した画像すべてに撮影日をプリントする場合は、「**日付**」を選択して OK ボタンを押します。「**日付**」の前の ☐ に ✔ が入ります。
- 選択した画像すべてにシャッタースピードと絞り値をプリントする場合は、「**撮影情報**」を選択して OK ボタンを押し、「**撮影情報**」の前の ☐ に ✔ を入れます。
- 選択した項目の ✔ を解除するには、その項目を選択して OK ボタンを押します。
- プリント指定を終了する場合は、「**選択終了**」を選択して OK ボタンを押します。

撮影日ごとにプリント指定を設定する

撮影日が同じ全画像にプリント指定を設定します。

1

「プリント指定」メニュー（P.74）で「撮影日選択」を選択し、OK ボタンを押す

2

確認画面で「はい」を選択して OK ボタンを押す

- キャンセルする場合は、「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

3

撮影日を選択する

4

プリントする枚数を設定し、Ⓚ ボタンを押す

- マルチセレクターの右（+）を押すと、選択した撮影日のサムネイル画像に「**1**」（枚数）が表示されます。
- マルチセレクターの右（+）を押す度に選択した撮影日のすべての画像のプリント枚数が 1 枚ずつ増加し（1 画像当たり最高 9 枚）、マルチセレクターの左（−）を押すと減少します。
- プリント指定を解除するときは、プリント枚数が「**1**」のときにマルチセレクターの左（−）を押します。
- ステップ 3、4 を繰り返して、プリントする画像の撮影日と枚数を設定します。

5

マルチセレクターでプリント時に印字する情報を必要に応じて選択する

- 選択した画像すべてに撮影日をプリントする場合は、「**日付**」を選択して Ⓚ ボタンを押し、「**日付**」の前の ☐ に ✔ を入れます。
- 選択した画像すべてにシャッタースピードと絞り値をプリントする場合は、「**撮影情報**」を選択して Ⓚ ボタンを押し、「**撮影情報**」の前の ☐ に ✔ を入れます。
- 選択した項目の ✔ を解除するには、その項目を選択して Ⓚ ボタンを押します。
- プリント指定を終了する場合は、「**選択終了**」を選択して Ⓚ ボタンを押します。

☑ プリント指定のリセット

「**プリント指定**」を設定したあとプリントするまでは、「**プリント指定**」メニューを再表示しないでください。「**プリント指定**」メニューを再表示した場合、「**日付**」と「**撮影情報**」の設定はリセットされますので、再度設定を行ってください。

日付のプリントについて

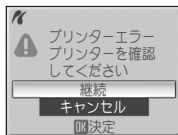
プリントされる日付は、撮影のときにカメラに設定されていた日時です。撮影後にセットアップメニューの「**日時設定**」を変更しても、プリントされる日付は変更されません。日時が設定されていない状態で撮影された画像は、「**プリント指定**」で日付に ✔ を入れても日付はプリントされません。

「プリント指定」と「デート写し込み」の違いについて

再生メニューの「**プリント指定**」とセットアップメニューの「**デート写し込み**」（P.104）で行う日付の写し込みには次のような違いがあります。

- 「**プリント指定**」で「**日付**」を設定する場合：
  - DPOF の日付機能に対応しているプリンターでプリントした場合のみ、日付が写し込まれた状態でプリントされます。
  - 撮影したあとに設定します。
  - 設定しても、日付は画像上には写し込まれません。日付が DPOF の設定ファイルに記録されます。プリント時に、日付が画像上に写し込まれたようにプリントされます。日付のプリント位置はご使用のプリンターの設定により異なります。
- 「**デート写し込み**」で日付の写し込みを設定する場合：
  - 画像上に写し込まれているため、特別な設定を行わなくても、日付が写し込まれた状態でプリントされます。
  - 撮影前に設定する必要があります。
  - 設定すると、日付が画像上に写し込まれます。日付のプリント位置は画像の右下です。
  - 写し込まれた日付は、画像上から消すことができません。
- 「**デート写し込み**」と「**プリント指定**」を両方とも設定した場合は、DPOF 対応プリンターを使用しても「**デート写し込み**」による日付のみがプリントされます。

エラーメッセージが表示された場合

プリント中にエラーメッセージが表示された場合は、プリンターを確認してください。エラーの原因を取り除いたあと、「**継続**」を選択し、ⓚ ボタンを押すとプリントを再開します。「**キャンセル**」を選択すると、その時点でプリントを中止します。エラーの原因によって「**継続**」を選択できない場合は「**キャンセル**」を選択してください。

「DPOF プリント」でダイレクトプリントする場合のご注意

- 内蔵メモリー／SD カードに記録した画像に「**プリント指定**」を設定していない場合は、「**DPOF プリント**」を選択できません。
- ダイレクトプリントの場合、「**プリント指定**」で撮影情報の印字を設定していても、撮影情報はプリントされません。

写真に日付をプリントするには

次のいずれかの方法で撮影日付を入れてプリントすることができます。

- 撮影前にセットアップメニューの「**デート写し込み**」で設定する（P.77、104）。
- 再生メニューの「**プリント指定**」で DPOF 設定を行う（P.74 ～ 76）。
- 画像をパソコンに転送し、PictureProject ソフトウェアを使用してプリントの設定を行う。詳しくは PictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM をご覧ください。

メニューの操作方法

カメラの基本設定や撮影、再生、動画に関する設定を行うには、主にメニューを使います。メニューには、撮影、再生、動画、セットアップ（カメラの基本設定）の 4 種類があります。

メニューを表示するには

撮影メニュー（P.80）

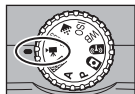
モードダイヤルを **P** または **A** に合わせる

MENU ボタンを押す

再生メニュー（P.91）

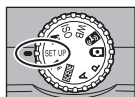
▶ ボタンを押す

MENU ボタンを押す

動画メニュー（P.58）

モードダイヤルを 🎥 に合わせる

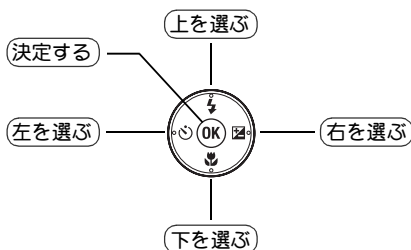
MENU ボタンを押す

- 撮影／再生／動画メニューから撮影や再生に戻るには、MENU ボタンを押してください。

セットアップメニュー（P.100）

モードダイヤルを SET UP に合わせる

- モードダイヤルを他のモードに合わせる、または ▶ ボタンを押すと、セットアップメニュー画面を終了します。

メニュー項目を設定するには

メニューを操作するときは、マルチセレクターを使います。

1 メニュー画面で設定したいメニュー項目を選ぶ

2 メニュー項目の設定画面を表示する

3 設定内容を選ぶ

4 設定を有効にする

撮影に関する設定—撮影メニュー

撮影メニューには以下の項目があります。
メニューの表示方法や操作方法については、P.78をご覧ください。

WB	ホワイトバランス	画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	P.48
	測光方式	カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。	P.81
	連写	連写するかどうかとその種類を設定します。	P.82
BSS	**BSS**	BSS（ベストショットセレクター：もっとも鮮明な画像を選択して記録する機能）を設定します。	P.84
BKT	ブラケティング	露出またはホワイトバランスを少しずつずらした連続撮影を設定します。	P.85
	階調補正	記録する画像のコントラストを設定します。	P.86
	輪郭強調	記録する画像の輪郭を強調する度合いを設定します。	P.86
	彩度調整	記録する画像の色の鮮やかさを調節します。	P.87
ISO	**ISO 感度設定**	ISO 感度を設定します。	P.47
	画質	撮影目的に合わせて画質を選択します。	P.45
	画像サイズ	表示サイズやプリントサイズに合わせて画像サイズを選択します。	P.45
[+]	**AF エリア選択**	画面のどの位置でピントが合うかを設定します。	P.88
	AF-MODE	カメラがいつピント合わせを行うかを設定します。	P.89
	ズーム時 F 値保持	「**ON**」に設定すると、ズーム使用中、絞り値の変化を最小限に抑えます。	P.90
NR	ノイズ除去	低速のシャッタースピードで撮影したときに画像に入る星状のノイズを軽減します。	P.90

測光方式

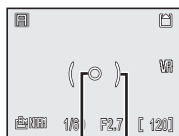
露出を合わせるためにカメラが被写体の明るさを計測することを測光といいます。

マルチパターン（初期設定）	さまざまな撮影状況で適正な露出が得られるマルチパターン測光になります。通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
中央部重点	画面に表示されている中央部重点測光範囲で測光します。ポートレート撮影など重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF ロック（P.89）を使用してください。
スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。被写体がスポット測光範囲に入るようにして撮影してください。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF ロック（P.89）を使用してください。
AF スポット	選択されている AF エリアを測光し、露出値を決定します。「**AF エリア選択**」（P.88）で「**オート**」または「**マニュアル**」が設定されているときに設定できます。

「測光方式」についてのご注意

電子ズーム作動中は自動的に中央部重点相当になります。ただし、測光範囲は表示されません。

測光方式表示について

「**測光方式**」を「**中央部重点**」または「**スポット**」に設定すると、設定した測光範囲が液晶モニターに表示されます。

連写

連写（連続撮影）する場合、その方法を設定します。

単写 （初期設定）	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。
連写	シャッターボタンを押し続けると、最高約 1.8 コマ／秒で連続 5 コマの連続撮影を行います。
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約1.7コマ／秒で16コマの連続撮影を行います。撮影した画像は、1 つの画像「**3264 × 2448**」として記録されます。
UH 連写	シャッターボタンを押し続けると、「**640×480**」ピクセルの画像を、約 30 コマ／秒の速度で最高 100 コマまで連続撮影します。撮影を行うたびに、「XXXN_xxx」フォルダーが新しく作成され、そのフォルダーに 100 コマすべてが記録されます。撮影画面の記録可能コマ数表示部にUH連写が可能な回数が表示されます。
サーキュラー連写	シャッターボタンを押し続けると、最高約 1.8 コマ／秒で連続撮影を行い、シャッターボタンから指を離すと連続撮影を終了します。連続撮影された複数の画像のうち、最後に撮影された 1 コマを含めた最新の連続 5 コマのみを記録します。
インターバル撮影	設定された撮影間隔（インターバル）で静止画像の撮影を自動的に行います。最高 1800 コマまで撮影可能です。「**インターバル撮影**」を選択後、インターバル撮影の撮影間隔を「**30 秒**」「**1 分**」「**5 分**」「**10 分**」「**30 分**」「**60 分**」から選択して設定します。 インターバル設定 1/2 / 30秒 / 1分 / 5分 / 10分 / 30分 / MENU終了 OK決定 撮影画面でシャッターボタンを押し込んでインターバル撮影を開始します。 • もう一度シャッターボタンを押す、内蔵メモリーまたはSDカードの容量がなくなる、または 1800 コマ撮影すると、インターバル撮影が終了します。 • ▶ ボタンを押すと、インターバル撮影が終了し、再生モードになります。 • 電源ボタンを押すと、インターバル撮影が終了し、電源がOFF になります。

連写モードの制限について

- 「**単写**」以外の連写モードと、「**BSS**」（P.84）、「**ブラケティング**」（「**ON**」または「**WB-BKT**」）（P.85）を同時に使用することはできません。あとに設定された機能が優先され、先に設定されていた機能は無効になります。
- 「**ノイズ除去**」（P.90）は「**自動 ON**」に設定しても機能しません。
- 「**連写**」、「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」または「**サーキュラー連写**」で撮影を行った場合は、ピントと露出、ホワイトバランスは撮影 1 コマ目の条件に固定されます。フラッシュは、自動的に ⓢ（発光禁止）になります。
- 「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」に設定した場合、電子ズーム（P.27）は使用できません。
- セルフタイマーで撮影するときは、自動的に「**単写**」に設定されます。セルフタイマーでの撮影を終えると、元の設定に戻ります。

「UH 連写」について

- 「**UH 連写**」の場合、撮影中に進行表示が **S** から **E** に動きます。100 コマの撮影が終了する前に撮影を終了するには、シャッターボタンから指を離します。
- 「**UH 連写**」の場合、画面に ⌛ マークが表示されている間に 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。この削除確認画面から、そのとき撮影した一連の全画像をフォルダーごと一括削除できます。
- 「**UH 連写**」の場合、シャッター音は鳴りません。

「サーキュラー連写」について

「**画像サイズ**」が「**3264 × 2448**」または「**3264 × 2176**」で「**画質**」が「**FINE**」の場合、連続 3 コマのみを記録します。

「インターバル撮影」時のご注意

インターバル撮影時は、途中でバッテリーの残量がなくなると撮影を終了するため、AC アダプターキット EH-62A（別売）のご使用をおすすめします。

「インターバル撮影」の待機中について

- インターバル撮影では、撮影から次の撮影までの間、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。設定した撮影間隔（インターバル）が経過する直前に、液晶モニターが自動的に点灯し、撮影を行います。
- インターバル撮影の待機中は、モードダイヤルを回さないでください。

BSS

BSS とは「ベストショットセレクター」（Best Shot Selector）のことで、シャッターボタンを深く押し込んでいる間、連写を続け（最大 10 コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている 1 コマをカメラが自動的に選んで記録する機能です。以下のような撮影のときに効果的です。

- 望遠側で撮影する場合
- マクロ撮影の場合
- 照明が暗くてもフラッシュを使用しない場合

OFF（初期設定）	BSS を設定しません。
ON	BSS を設定します。フラッシュは自動的に（発光禁止）に設定され、オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。

「BSS」についてのご注意

BSS は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。

ブラケティング BKT

露出またはホワイトバランスを少しずつずらした連続撮影をカメラが自動的に行います。露出補正やホワイトバランスの調整を行うのが難しいときに使用すると便利です。

OFF （初期設定）	ブラケティングを行いません。
BKT **ON**	標準、＋ 0.5、－ 0.5 の順で自動的に露出をずらしながら、3 コマの画像を撮影します。シャッターボタンを深く押し込むと、3 コマを連続して撮影します。
WB-BKT （ホワイトバランスブラケティング）	1 回の撮影で、設定されているホワイトバランス（P.48）の画像、青味がかった画像、赤味がかった画像の 3 種類の画像を記録します。 1 回撮影するごとに 3 コマずつ記録されますので、書き込み時間は通常の約 3 倍かかります。

「ブラケティング」についてのご注意

- 「**ON**」に設定した場合、フラッシュモードが（発光禁止）になります。
- 「**ON**」または「**WB-BKT**」に設定した場合、「**ノイズ除去**」（P.90）は「**自動 ON**」にしても機能しません。

露出補正を設定したときは

露出補正（P.34）と「**ブラケティング**」を同時に設定した場合は、補正量が加算されます。

ホワイトバランスブラケティングについて

「**ホワイトバランス**」（P.48）が「**プリセット**」に設定されていると、「**WB-BKT**」を選択することができません。

階調補正

記録する画像のコントラストを設定します。

オート（初期設定）	カメラが撮影シーンに応じて最適なコントラストを自動的に設定します。
標準	標準的な階調に設定します。暗いシーンから明るいシーンまで、さまざまな撮影状況を再現します。
コントラスト強め	明暗差を強調してコントラストをつけます。曇り空の下で撮影した風景の画像や、コントラストが低い被写体の画像に効果的です。
コントラスト弱め	明暗差を抑えてコントラストを低くします。強い光で被写体にくっきりとした影が出てしまう場合などに効果的です。

輪郭強調

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。

オート（初期設定）	撮影した画像が最適な輪郭になるように、カメラが自動的に調整します（調整の度合いは画像によって異なります）。
強	輪郭を強めに強調します。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつける場合などに使用します。
標準	標準的なレベルで輪郭強調を行います。
弱	輪郭の強調を弱めに行います。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭強調しません。画像をパソコンで加工する場合などに適しています。

輪郭強調について

輪郭強調の効果は、撮影時の液晶モニターでは確認できません。画像を再生して確認してください。

彩度調整

記録する画像の色の鮮やかさを変更できます。

設定	説明
+2 彩度 +2	彩度を鮮やかにします。「**彩度 +1**」よりも「**彩度 +2**」の方がより鮮やかになります。撮影した画像をそのままプリンターで出力する場合に適しています。
+1 彩度 +1	
±0 標準（初期設定）	標準的な彩度に調整します。通常の撮影ではこの設定をおすすめします。
-1 彩度 -1	彩度を抑えます。「**彩度 -1**」よりも「**彩度 -2**」の方がより抑えられます。画像をパソコンで加工する場合などに適しています。
-2 彩度 -2	

AF（オートフォーカス）エリア選択

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

オート（初期設定）	11 あるAF エリアのうち、最もカメラに近い被写体があるAF エリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択したAF エリアが液晶モニターに表示されます。ピント合わせをカメラまかせにして、気軽に撮影したい場合に適しています。	AF エリア
マニュアル	選択可能エリア内の99ヵ所のAF エリアから、撮影者が選択してピントを合わせます。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。 「マニュアル」を選択すると、AF エリア選択ガイドと選択可能エリアが表示されます。ピントを合わせる被写体にAF エリアが重なるよう、マルチセレクターを使って移動させます。	AF エリア 選択可能エリア
中央	中央のAF エリアにピントを合わせます。被写体が中央にない場合は、AF ロック（P.89）を使用してピントを合わせます。	AF エリア

AF エリアの表示について

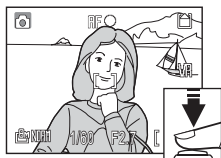
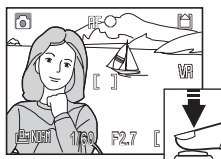
- ピントが合うと、選択されたAF エリアが緑色で表示されます。
- ピントが合わない場合はAF エリアが赤く点滅します。
- 「**オート**」に設定している場合は、シャッターを半押しするまでAF エリアは表示されません。

AF-MODE（オートフォーカスモード）

カメラがいつピント合わせを行うかを設定します。

シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。
常時 AF	シャッターボタンを押していないときも、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。

AF ロックについて

シャッターボタンを半押しすると、AF エリアの被写体にピントが合います。そのまま半押しを続けると、ピントと露出はそのまま固定（AF ロック）されます。AF ロックは構図を工夫したい撮影や、オートフォーカスが苦手な被写体（P.149）の撮影などに便利です。ここでは、「**AF エリア選択**」（P.88）を「**中央**」に設定した場合の AF ロックの操作方法を説明します。

1. **シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる**
   写したいものが画面の中央になるようにカメラを向け、シャッターボタンを半押しします。
2. **AF 表示を確認する**
   ピントが合うと、液晶モニターの AF 表示が点灯し、AF エリアが液晶モニターに緑色で表示されます。
   - シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。
3. **シャッターボタンを半押ししたまま構図を変える**
   - カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせ直してください。

4. **シャッターボタンを押し込んで撮影する**

オートフォーカスが苦手な被写体：**P.149**

ズーム時 F 値保持

ズーミングに対応する F 値（絞り値）の変化について設定します。
モードダイヤルが **A** のときのみ使用可能です。

OFF（初期設定）	ズーミングに対応して絞り値が変化します。
ON	絞り値の変化を最小限に抑えながらズーミングを行います。ただし、ズーミングによって絞りの制御範囲を超えてしまうことがあります。F5 ～ F7.3 の範囲内に絞り値をセットしてご使用ください。

ノイズ除去 NR

暗いところなどで撮影する場合、シャッタースピードが遅くなると、画像にノイズが入る場合があります。このノイズを軽減する設定を行います。

OFF（初期設定）	ノイズ除去は機能しません。
NR **自動 ON**	ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになると、ノイズ除去が機能します。撮影開始から内蔵メモリー／SD カードへ画像が記録されるまでの時間が、通常より長くなります。

「ノイズ除去」についてのご注意

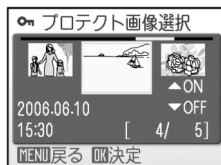
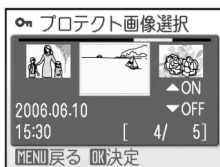
連写モード（P.82）時、または「**ブラケティング**」（P.85）を「**ON**」または「**WB-BKT**」に設定した場合、「**ノイズ除去**」は「**自動 ON**」に設定しても機能しません。

再生に関する設定―再生メニュー

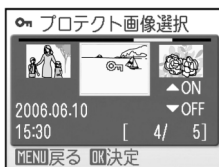
再生メニューには以下の項目があります。メニューの表示方法や操作方法については、P.78 をご覧ください。

撮影日一覧	画像を撮影した日付ごとに分類します。選択した画像に対して「**D- ライティング**」、「**プリント指定**」、「**削除**」、「**転送マーク設定**」、「**スモールピクチャー**」の 5 種類の再生メニュー操作を行うことができます。	P.94
D- ライティング	撮影した画像の階調（明るさ）を補正して、画像に保存します。	P.94
プリント指定	DPOF 対応プリンターでプリントする画像を選択し、プリント枚数や、プリント時に撮影情報、日付を印字するかどうかを設定します。	P.74
スライドショー	内蔵メモリー／SD カード内の画像を 1 コマずつ順番に自動再生します。	P.95
削除	画像を削除します。	P.96
プロテクト設定	誤って大切な画像を削除しないように、プロテクト（保護）をかけます。	P.96
転送マーク設定	撮影した画像に対し、パソコンに転送するための転送マークの設定／解除を行います。	P.97
スモールピクチャー	撮影した画像からサイズの小さい画像を新しく作成します。	P.98
画像コピー	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	P.99

画像選択画面の操作方法

再生メニューの「**プリント指定**」(P.74)、「**削除**」(P.96)、「**プロテクト設定**」(P.96)、「**転送マーク設定**」(P.97)、「**画像コピー**」(P.99)では、対象となる画像を選択すると、右のような画面が表示されます。
画像選択画面の操作方法は以下のとおりです。

1

画像を選択する

- 画面中央に選択した画像が大きく表示されます。

2

ON/OFF(または枚数)を設定する

- 「**ON**」にすると、設定内容に応じたアイコンが表示されます。
- 設定したいすべての画像に対して、ステップ 1、2 を行います。
- 設定を取り消す場合は、設定を解除したい画像を選択してマルチセレクターの上または下を押し、アイコンを消します。

3

設定を有効にする

- 「**プリント指定**」の場合は、「**プリント指定**」画面が表示されます。

- 「**プロテクト設定**」、「**転送マーク設定**」の場合は、操作が完了します。
- 「**削除**」、「**画像コピー**」の場合は、確認画面が表示されます。「**はい**」を選択し、OK ボタンを押すと画像の削除またはコピーが行われます。

撮影日選択画面の操作方法

再生メニューの「**プリント指定**」(P.74)、「**削除**」(P.96)、「**転送マーク設定**」(P.97) では、それぞれの設定画面で「**撮影日選択**」を選択すると、右の画面が表示され、同じ撮影日の全画像に対して一度にメニュー操作を実行できます。

「**撮影日選択**」画面の操作方法は以下のとおりです。

1

撮影日を選択する

画面例:「**削除**」メニューから「**撮影日選択**」を選んだ場合

- 撮影日内で最初に撮影した画像のサムネイル、撮影年月日、画像の枚数が表示されます。

2

ON/OFF(または枚数)を設定する

- 「**ON**」にすると、設定内容に応じたアイコンが表示されます。
- 設定したいすべての日付に対して、ステップ 1、2 を行います。
- 設定を取り消す場合は、設定を解除したい撮影日を選択してマルチセレクターの左を押し、アイコンを消します。

3

設定を有効にする

- 「**プリント指定**」の場合は、「**プリント指定**」画面が表示されます。
- 「**転送マーク設定**」の場合は、選択した撮影日の全画像が転送設定されます。
- 「**削除**」の場合は、削除確認画面が表示されます。「**はい**」を選択し、OK ボタンを押すと選択した撮影日の全画像が削除されます。

「過去画像」として表示される画像について

P.93 および P.94 のステップ 1 の画面では、新しい撮影日から順に 30 日分まで画像が分けて表示されます。それ以上古い画像は、最後の項目に「**過去画像**」として分類され、撮影日が同じ画像として扱われます。

「撮影日選択」(**P.93**)、「撮影日一覧」(**P.94**) で対象外になる画像について

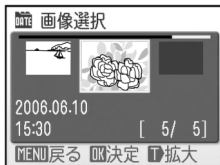
日時設定のない画像(P.24、102)は対象外となります。

撮影日一覧

内蔵メモリー／SDカードに記録した画像を、撮影した日付（撮影日）ごとに分類します。また、「**撮影日一覧**」画面から選択した画像に対して、「**D- ライティング**」、「**プリント指定**」、「**削除**」、「**転送マーク設定**」、「**スモールピクチャー**」の設定ができます。

再生したい撮影日を選択する

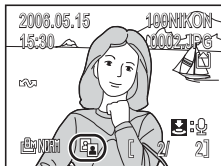
- それぞれの撮影日で最初に撮影した画像、撮影年月日、画像の枚数が表示されます。
- 🗑ボタンを押すと、選択した撮影日の画像を一度に削除することができます。

2

「画像選択」画面を表示する

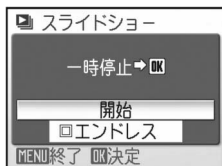
- 🔍（**T**）ボタンを押して、1 コマ再生モードに切り換えることができます。▦（**W**）ボタンを押すと、「**画像選択**」画面に戻ります。
- マルチセレクターの左または右を押して画像を選択する、または 1 コマ再生モードに切り換えて Ⓚ ボタンを押すと、選択した画像に対して「**D- ライティング**」(P.94)、「**プリント指定**」(P.74)、「**削除**」(P.96)、「**転送マーク設定**」(P.97)、「**スモールピクチャー**」(P.98) の設定ができます。

D- ライティング

画像の階調（明るさ）を補正して、元画像とは別に新しい画像を作成します。D-ライティング機能を使うと、逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正することができます。画面の左上に元の画像が、右上に補正後の画像が表示されます。

- D-ライティングで作成した画像には再生時にD-ライティング済みマークが表示されます。

スライドショー

内蔵メモリー／SDカードに記録されている画像を1コマずつ自動的に連続再生します。約3秒間隔で撮影した順番に再生します。
- フォルダー番号の小さい順にフォルダー内の画像をファイル番号順に再生します。
- スライドショーの再生時間は最長30分です。

1

「開始」を選択する
- 繰り返し再生する場合は、「**開始**」を選択する前に「**エンドレス**」を選択してOKボタンを押し、チェックマークを付けます。

2

スライドショーが開始する

スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

一時停止	OK	スライドショーが一時停止し、メニューが表示されます。スライドショーを再開するには「**再開**」を選択します。スライドショーを終了するには「**終了**」を選択します。（画面：一時停止／終了／再開／OK:決定）
コマ送り	▶	コマ送りします。押し続けると早送りします。
コマ戻し	◀	コマ戻しします。押し続けると巻き戻します。
終了	MENU	スライドショーを終了して1コマ再生モードに戻ります。

スライドショーについてのご注意

- スライドショーを開始してカメラの操作をせずに30分経過すると、オートパワーオフ機能により液晶モニターが消灯し、さらに3分経過すると、自動的にカメラの電源がOFFになります（「**エンドレス**」設定時も同様です）。
- 動画は1フレーム目のみ表示されます。

削除

選択した画像またはすべての画像を内蔵メモリー／SDカードから削除できます。

- SDカードをカメラに入れていない場合は、内蔵メモリー内の画像が削除されます。
- SDカードをカメラに入れると、SDカードの画像が削除されます。

削除画像選択	「**削除画像選択**」画面（P.92）で選択した画像を削除します。
撮影日選択	「**撮影日選択**」画面（P.93）で選択した撮影日の画像をすべて削除します。
全画像削除	内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているすべての画像を削除します。 • 「**削除確認**」画面で「**はい**」を選択して ⓚ ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。

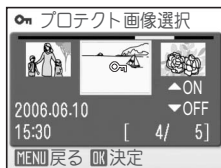
音声メモについてのご注意

画像に記録した音声メモのみを削除する場合は、1コマ再生モード、サムネイル再生モードまたは拡大表示モードで画像を表示して 🗑 ボタンを押してください（P.57）。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- О╖ アイコンが表示されている画像は、プロテクト（保護）設定されているので削除されません（P.96）。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除することを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定することができます。プロテクトされた画像を再生すると、О╖ マークが表示されます。

プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定された画像は削除できません。ただし、内蔵メモリー／SDカードを初期化すると、プロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されますのでご注意ください（P.108）。

転送マーク設定

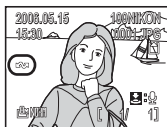
撮影した画像に対し（転送）マークの設定、解除を行います。

全 ON	全画像に マークを設定します。
全 OFF	全画像の マークを解除します。
撮影日選択	「**撮影日選択**」画面（P.93）で選択した撮影日の全画像に マークを設定します。
複数画像選択	「**転送マーク設定**」画面（P.92）で画像に マークを設定、または解除します。

転送マーク設定についてのご注意

- 転送設定できる画像は 999 コマまでです。999 コマを超える画像を転送する場合は、PictureProject ソフトウェアを使用してすべての画像を一括で転送してください。詳しくは PictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM をご覧ください。
- 他の機種で転送設定した SD カードを入れても転送設定は認識されません。このカメラで再度転送設定してください。
- 初期設定ではセットアップメニューの「**転送設定**」（P.109）が「**ON**」になっていますので、撮影時に全画像に マークが設定されます。

（転送）マーク

- 転送マーク設定された画像には、再生時に マークが表示されます。

1 コマ再生モード

サムネイル再生モード
（4 コマのみ）

スモールピクチャー

撮影した画像から、元画像とは別に、サイズの小さい画像を作成します。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の 3 種類から選択します。

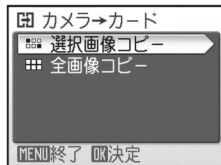
640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。
160 × 120	電子メールの添付に適しています。

スモールピクチャーについてのご注意

- 作成されたスモールピクチャーは、「**BASIC**」（JPEG で約 1/16 に圧縮）で保存されます。
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。

画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

コピーしたい画像を選択（P.92）してコピーしたり、内蔵メモリー／SDカードのすべての画像をコピーすることができます。

IN→SD	内蔵メモリーに記録されている画像をSDカードへコピーします。
SD→IN	SDカードに記録されている画像を内蔵メモリーへコピーします。

画像コピーについてのご注意

- 画像コピー中にコピー先の空き容量が不足したときは、画像コピーが中止され、エラーメッセージが表示されます。コピー先に収まり切らなかった画像はコピーされません。
- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、MOV、WAVです。これ以外の形式の画像ファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像の画像コピーはできません。

コピーした画像のファイル名について

- 選択画像コピーのときは、コピー先にすでに作成されているフォルダー内に選択した画像がコピーされ、コピー先およびコピー元双方での最も大きいファイル番号＋ 1 からの連番で、ファイル名が付きます。
  例：コピー元メモリーのファイル番号の最大値が32（DSCN0032.JPG）、コピー先メモリーのファイル番号の最大値が18（DSCN0018.JPG）の場合
  コピーした画像のファイル名は、DSCN0033からの連番になります。
- 全画像コピーのときは、内蔵メモリー／SDカードの全画像がフォルダーごとコピーされます。フォルダー名は、新規のフォルダー番号（コピー先にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前となります。コピー先に新しいフォルダーを作成できないときは、コピーは実行されず、エラーメッセージが表示されます。

プリント指定、転送マーク設定、プロテクト設定について

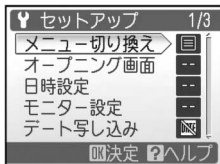
「**プリント指定**」（P.74）を行ったり、「**転送マーク**」（P.97）を設定した画像をコピーしても、これらの設定内容はコピーされません。ただし、「**プロテクト設定**」（P.96）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

カメラに関する基本設定ーセットアップメニュー

セットアップメニューには以下の項目があります。メニューの表示方法や操作方法については、P.78 をご覧ください。

MENU	メニュー切り換え	撮影、動画、再生、セットアップ各メニューの表示方法を設定します。	P.101
	オープニング画面	カメラの電源を ON にしたときに液晶モニターに表示される「オープニング画面」を設定します。	P.101
	日時設定	内蔵時計の日時を設定します。	P.102
	モニター設定	画面の表示内容や明るさを設定します。	P.103
DATE	デート写し込み	画像に撮影日時を写し込む設定をします。	P.104
	撮影確認 LED	撮影が完了するたびに点灯するかを設定します。	P.106
	AF 補助光	AF 補助光を自動的に発光させるか、OFF にするかを設定します。	P.106
	操作音	カメラの設定音の ON/OFF や、シャッター音、オープニング音の音量を設定します。	P.107
	オートパワーオフ	待機状態に入るまでの時間を設定します。	P.107
IN/	メモリー／カードの初期化	内蔵メモリー／SD カードを初期化します。	P.108
	言語 /LANGUAGE	画面に表示される言語を設定します。	P.108
	インターフェース	USB 通信方式とビデオ出力形式を設定します。	P.109
	転送設定	画像をパソコンに転送できるように、撮影前に設定します。	P.109
C	設定クリアー	各種機能を初期状態に戻します。	P.110
Ver.	バージョン情報	ファームウェアの情報を表示します。	P.110

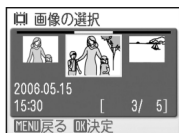
メニュー切り換え

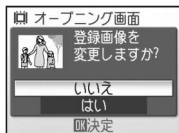
撮影、動画、再生、セットアップメニューの表示スタイルを設定します。

文字タイプ

アイコンタイプ

オープニング画面

カメラの電源を ON にしたときに液晶モニターに表示される画像（オープニング画面）を設定します。

なし	電源を ON にしたとき、オープニング画面は表示されません。
Nikon	電源を ON にしたとき、オープニング画面が表示されます。
アニメーション （初期設定）	電源を ON にしたとき、オープニングアニメーションが表示されます。
撮影した画像	内蔵メモリー／SDカードの画像を、オープニング画面として登録できます。 1 「**撮影した画像**」を選択し、Ⓚ ボタンを押すと「**画像の選択**」画面が表示されます。 2 マルチセレクターの左または右で画像を選択します。 3 Ⓚ ボタンを押します。

「撮影した画像」を選択した場合

すでに画像を登録していると、登録していた画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。

日時設定

内蔵時計についての設定を行います。海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能を使うこともできます。

日時	通常使用する日付と時刻を設定します。詳しくは「表示言語と日時を設定する」（P.24）をご覧ください。
ワールドタイム	海外旅行などに便利な機能です。訪問先のタイムゾーン（地域）を登録すると、自宅からの時差（P.150）を自動的に計算し、現地時間で撮影時刻を記録することができます。 選択を示すアイコン

1

自宅または訪問先のタイムゾーンを選択する

- 自宅のタイムゾーンを使用する場合は、🏠 を選択します。
- 訪問先の時間に変更したい場合は、✈ を選択します。

夏時間を設定する場合は、「**夏時間**」を選択して ⓞ ボタンを押すと □ に ✔ が入ります。

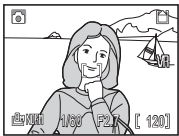
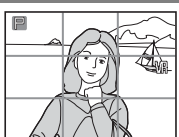
2

世界地図画面を表示する

3

タイムゾーン（都市名）を設定する

- タイムゾーンが設定されます。

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラに入れるバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるか ACアダプターを接続すると、時計用電池が充電されます。充電には約 10 時間かかり、数日間、設定した日時を記憶することができます。

モニター設定

液晶モニターの表示と画面の明るさを設定します。

モニター表示設定

設定	説明	
情報 ON （初期設定）	撮影・再生の際、撮影情報や操作ガイドを表示します。	
情報 AUTO	「**情報 ON**」と同じ表示が 5 秒間続いた後、「**情報 OFF**」に切り替わります。	
情報 OFF	情報表示や操作ガイドを非表示にします。	
方眼＋情報 AUTO	**P**（プログラムオート）モード、**A**（絞り優先）モードのとき、「**情報 AUTO**」と同様の表示に加えて方眼を表示します。他のモードでは「**情報 ON**」と同じです。	

画面の明るさ

液晶モニターの明るさを 5 段階に調整します。

デート写し込み

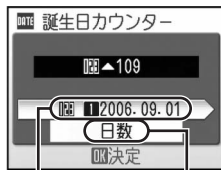
撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。
デート写し込みを設定すると、日付と時刻は画像に直接写し込まれますので、DPOF に対応していないプリンターでも日付と時刻入りの画像をプリントできます。
日付と時刻は撮影と同時に画像の右下に写し込まれます。撮影後に写し込むことはできませんのでご注意ください。

設定	説明
OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。
年・月・日	画像上に日付のみを写し込みます。
年・月・日・時刻	画像上に日付と時刻の両方を写し込みます。
誕生日カウンター	登録日から撮影日までの経過日数を写し込みます。

日付、時刻の写し込みについてのご注意

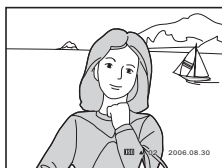
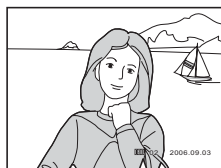
- 一度写し込まれた日時は画像から消すことはできません。
- （パノラマアシスト）または「**UH連写**」で撮影する場合、または動画を撮影する場合は、「**デート写し込み**」は行われません。
- 「**日時設定**」（P.24、102）で日時を設定していない場合、「**デート写し込み**」は選択できません。
- 画像サイズ（P.45）が「**640 × 480**」に設定されている場合、写し込まれた日時が読みづらい場合があります。画像サイズは「**1024 × 768**」以上に設定することをおすすめします。
- 年、月、日の表示順序は、「**日時設定**」（P.24、102）で選択した表示順序と同じになります。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れることができます。誕生日や結婚式などのイベントまでの日数をカウントダウン形式で入れたり、お子様の誕生日からの経過日数を入れるなど、さまざまな用途にお役立てください。

Ⓚ ボタンを押すと「日付登録」画面へ

Ⓚ ボタンを押すと「表示選択」画面へ

日付登録	1～3 のいずれかを選んでマルチセレクターの右を押すと、日付設定画面が表示されます。P.24 と同様の手順で日付を設定後、Ⓚ ボタンを押してください。日付は 3 種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1～3 のいずれかを選んで、Ⓚ ボタンを押してください。	
表示選択	日付の表示形式を選び、Ⓚ ボタンを押してください。	

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

撮影確認 LED

セルフタイマーランプを撮影完了時の確認用ランプとして点灯するように設定できます。

OFF（初期設定）	点灯しません。
ON	撮影が完了したときに、点灯します。連写モードが「**マルチ連写**」または「**サーキュラー連写**」に設定されている場合は連続撮影が終了したときに点灯します。フラッシュが発光した場合や、連写モードが「**UH 連写**」に設定されている場合は、点灯しません。

AF 補助光

被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押ししたとき、AF 補助光が自動的に照射するように設定できます。

OFF	照射しません。 被写体となる人が AF 補助光をまぶしがる場合や、フラッシュの発光が禁止されている場所でAF補助光も照射させたくない場合など、「**OFF**」に設定します。この場合、ピントが合わないことがあります。
AUTO（初期設定）	AF 補助光が自動的に照射され、被写体を照らしてオートフォーカスでのピントを合わせやすくします。

AF 補助光が届く範囲

広角側：約 0.5 ～ 3.0 m まで、望遠側：約 0.5 ～ 1.5 m まで

AF 補助光について

次のような場合に「**AF 補助光**」を「**AUTO**」にして暗い被写体を撮影すると、AF 補助光が照射されます。

- 撮影メニューの「**AF エリア選択**」を「**オート**」または「**中央**」に設定した場合。または「**AF エリア選択**」を「**マニュアル**」に設定し、中央付近の AF エリアを選択した場合
- （顔認識ポートレート）、（ポートレート）、（パーティー）、（夜景ポートレート）、（海・雪）、（モノクロコピー）、（スポーツ）、（逆光）、（パノラマアシスト）で撮影する場合
- （クローズアップ）で中央付近の AF エリアを選択した場合

操作音

操作音について設定します。

設定音	設定音（電子音 1 回：設定完了時など）や警告音（電子音 3 回：禁止動作を行ったときなど）の ON/OFF を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときの音量を「**大**」、「**標準**」、「**OFF**」から設定できます。
オープニング音	起動時のオープニング音の音量を「**大**」、「**標準**」、「**OFF**」から設定できます。

オートパワーオフ

電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラの機能を停止して、バッテリーの消耗を防ぎます。
オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を「**30 秒**」、「**1 分**」（初期設定）、「**5 分**」、「**30 分**」から選択できます。
オートパワーオフ機能が作動してから何も操作しないで約 3 分経過すると、自動的に電源が OFF になります。

オートパワーオフ機能：**P.151**

メモリー／カードの初期化

内蔵メモリー／SDカードを初期化（フォーマット）します。

- 内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューに「**メモリーの初期化**」と表示されます。
- SDカードをカメラに入れると、セットアップメニューに「**カードの初期化**」と表示されます。

高速初期化	内蔵メモリー／SDカード上のデータが記録されている領域のみを初期化します。
標準初期化 （「**カードの初期化**」時のみ）	データが記録されていない領域も含むSDカード全体が初期化されます。「**標準初期化**」は「**高速初期化**」に比べて処理時間が長くなります。

初期化についてのご注意

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。
- 新品のSDカードをお使いになるときは、必ずカメラで「**標準初期化**」を行ってください。
- SDカードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、定期的にカメラで「**標準初期化**」を行うことをおすすめします。
- バッテリー残量が少ないときは、「**標準初期化**」はできません。

言語 /LANGUAGE

メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を選択します。

Čeština	チェコ語
Dansk	デンマーク語
Deutsch	ドイツ語
English	英語
Español	スペイン語
Français	フランス語
Indonesia	インドネシア語
Italiano	イタリア語
Nederlands	オランダ語
Norsk	ノルウェー語
Polski	ポーランド語
Português	ポルトガル語
Русский	ロシア語
Suomi	フィンランド語
Svenska	スウェーデン語
中文简体	簡体字中国語
中文繁體	繁体字中国語
日本語	（初期設定）
한글	韓国語
ภาษาไทย	タイ語

インターフェース（USB ／ビデオ出力）

パソコンやプリンター、テレビとの接続に必要な設定を行います。

USB	パソコンやプリンターとの通信方式を「**MassStorage**」と「**PTP**」から選べます（P.66）。
ビデオ出力	ビデオの出力方式を「**NTSC**」と「**PAL**」から選べます。（P.63）

転送設定

撮影する画像に対して、（転送）マークを付けるか、付けないかを設定します。

OFF	設定後に撮影する画像には、（転送）マークが付きません。
ON（初期設定）	設定後に撮影するすべての画像に（転送）マークが付きます。

マークについて

PictureProject がインストールされたパソコンとカメラを専用 USB ケーブル UC-E6 で接続して、カメラの OK ボタンを押すと、マークの付いた画像がパソコンに転送されます（P.64）。パソコンと無線 LAN で接続している場合は、「**ワイヤレスメニュー**」で「**転送マーク画像転送**」を選んでカメラの OK ボタンを押すと、マークの付いた画像がパソコンに転送されます（P.128）。

撮影した画像の マークを再設定する

再生メニューの「**転送マーク設定**」（P.97）で、撮影した画像の マークを設定、または解除できます。

設定クリアー

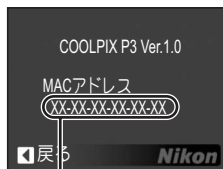
「**はい**」を選択するとカメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。

ファイル名の連番を **0001** にリセットしたいときは

ファイル名の連番を 0001 にリセットするときは、内蔵メモリー／SDカード内の画像をすべて削除（P.96）するか、内蔵メモリー／SDカードを初期化（P.108）したあと、設定クリアーを行ってください。

初期設定一覧：P.145

バージョン情報

カメラのファームウェアバージョンを表示します。下に表示されている 12 桁の数字は、カメラの MAC アドレスです。

MAC アドレス

ワイヤレス転送モードとは

IEEE 802.11b/g 規格に準拠した無線 LAN 通信機能です。IEEE 802.11b/g 規格に準拠した無線 LAN に対応したパソコンをお持ちの場合は、カメラをパソコンにワイヤレス接続して、画像をパソコンに保存したり、パソコンに接続されたプリンターからプリントすることができます。
ワイヤレス転送モードは、無線 LAN 通信方式として「アドホック」モードと「インフラストラクチャー」モードの両方に対応しています。
また、別売の「ワイヤレスプリンターアダプター PD-10」をお使いいただくと、カメラとプリンターをワイヤレス接続して画像をプリントすることができます。

アドホックモード

カメラとパソコンを 1 対 1 で直接接続する方式です。

インフラストラクチャーモード

カメラとパソコンを無線 LAN アクセスポイントを経由して接続する方式です。

*ワイヤレスプリンターアダプター **PD-10***

PictBridge 対応プリンターにワイヤレスプリンターアダプター PD-10（別売）を接続すると、パソコンを経由せず、カメラからワイヤレス接続で直接プリンターに画像を送り、プリントすることができます。

パソコンの動作環境（**OS**）

ワイヤレス転送モードでの動作を当社で確認済みの OS は、次のとおりです。

- Windows XP Professional/Home Edition（SP1 以上、SP2 を推奨）
- Mac OS X（Ver.10.3 以降）

動作確認済み OS についての最新情報は、「インターネットご利用の方へ」（P.160）に記載の当社ホームページでご案内しています。

ワイヤレス転送モードを使用するための準備

ワイヤレス転送モードを使用するには、付属の Wireless Camera Setup Utility（以下「セットアップユーティリティー」）を使って、パソコンをカメラの「接続先」として設定する必要があります。「セットアップユーティリティー」を使用する前に、「設定作業の流れ」（P.114）をご確認ください。

接続先設定方法の確認

「セットアップユーティリティー」を使用してパソコンをカメラの「接続先」として設定する際、お使いのパソコンに設定されている無線 LAN 環境に応じた「接続先」の設定方法が表示されます。「セットアップユーティリティー」を起動する前に、以下の設定方法のうちどれを使用するか、確認してください。

設定方法	内容	こんなときに
インフラストラクチャー（アクセスポイント）ネットワークの接続先を作成する	使用中のインフラストラクチャー・ネットワークの設定を自動的に読み込み、インフラストラクチャーモードで接続先設定を行います。	使用中のインフラストラクチャー・ネットワークを介してカメラとパソコンを接続したい場合に選択します。Windows の OS を使用して無線 LAN 設定を行っている場合に選択できます。
アドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する	パソコンに新規にアドホックモードで接続先設定を行います。	パソコンに無線 LAN がひとつも設定されていない場合に選択します。無線 LAN をはじめてお使いになる場合におすすめの設定です。
インフラストラクチャー（アクセスポイント）およびアドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する	使用中のインフラストラクチャー・ネットワークの設定を自動的に読み込み、インフラストラクチャーモードで接続先設定を行います。その後、新規にアドホックモードで接続先設定を行います。	会社ではインフラストラクチャー・ネットワーク、自宅ではアドホック・ネットワークで使うなど、複数のネットワーク環境で使用する場合に選択します。Windows の OS を使用して無線 LAN 設定を行っている場合に選択できます。
接続先を手入力で作成する	使用中のインフラストラクチャー・ネットワークの設定を手動で入力し、接続先設定を行います。	パソコンが固定 IP の場合や、Windows の OS 以外を使用して無線 LAN 設定を行っている場合、Windows XP SP1 をお使いの場合、Macintosh を使用している場合、無線 LAN に詳しく自分ですべて設定したい場合に選択します。

設定方法の選択は、「セットアップユーティリティー」がお使いのパソコンの無線 LAN 環境を判定したのちに行います。詳しくは、「設定作業の流れ」（P.114）をご覧ください。

「セットアップユーティリティー」のインストールを確認する

「セットアップユーティリティー」は、カメラに付属の「Wireless Camera Setup Utility/PictureProject ソフトウェア CD-ROM」（以下「ソフトウェア CD-ROM」）を使って PictureProject をインストールする際に、同時にインストールされます。
以下の手順で、パソコンに「セットアップユーティリティー」がインストールされているかどうかを確認してください。

- Windows の場合：［スタートメニュー］→［すべてのプログラム］に［**Wireless Camera Setup Utility**］があるかどうかを確認する。
- Macintosh の場合：［アプリケーション］フォルダ→［**Nikon Software**］フォルダ内に［**Wireless Camera Setup Utility**］フォルダがあるかどうか確認する。

「セットアップユーティリティー」がインストールされている場合

インストールされている場合は、「Wireless Camera Setup Utility」のプログラムアイコンを選択またはダブルクリックして起動してください。

起動すると、3 つのタブ（［はじめに］［接続先］［ワイヤレスプリント］）がある画面が表示されますので、［はじめに］を選択し、［次へ］ボタンをクリックして設定を開始します（P.116）。

「セットアップユーティリティー」がインストールされていない場合

「ソフトウェア CD-ROM」を使って、インストールを行います。インストーラの［**Welcome**］ウィンドウで、［標準インストール］（PictureProject を同時にインストール）または［**Wireless Setup** *のみ*］（「セットアップユーティリティー」のみをインストール）のいずれかを選択できます。

［標準インストール］または［**Wireless Setup** *のみ*］のいずれの場合も、インストールが完了すると「セットアップユーティリティー」が自動的に起動しますので、［次へ］ボタンをクリックして設定を開始します（P.116）。
（インストール直後の自動起動時は、3 つのタブのない設定画面が表示されます。）

インストールについて

インストール方法の詳細は別冊の簡単操作ガイドまたはPictureProjectソフトウェア使用説明書 CD-ROM をご覧ください。

設定作業の流れ

「セットアップユーティリティー」が起動したら、以下の流れでカメラの「接続先」を設定します。

- 各手順の詳細については、「設定作業の詳細」（P.116）をご覧ください。
- ［**接続先を手入力で作成する**］を選択した場合に手順 5、6 で設定する項目の詳細については、「「接続先」の設定作業についての詳細」（P.120）をご覧ください。
- 各手順で表示される画面には［**ヘルプ**］ボタンがありますので、操作がわからなくなった場合などにご利用ください。設定作業を中止する場合は、任意の画面で［**キャンセル**］ボタンをクリックしてください。

○：設定を行う　－：設定を行わない

1 カメラのバッテリーに十分な容量があるか、確認を促される

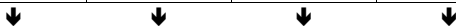
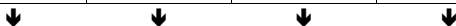
2 パソコンが無線 LAN に対応しているか、確認を促される

3 カメラとパソコンが USB 接続されているかどうかを確認する

4 「セットアップユーティリティー」が表示する選択肢から設定方法を選ぶ
パソコンが固定 IP の場合や、Windows の OS 以外を使用して無線 LAN 設定を行っている場合、Windows XP SP1 をお使いの場合、Macintosh を使用している場合は、自動的に［**接続先を手入力で作成する**］へ進みます。

	インフラストラクチャー（アクセスポイント）ネットワークの接続先を作成する	アドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する	インフラストラクチャー（アクセスポイント）およびアドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する	接続先を手入力で作成する
	↓	↓	↓	↓
5 接続先名を入力し、カメラに表示されるアイコンを選択する	○	○	○	○
	↓	↓	↓	↓

無線LANによる転送

	インフラストラクチャー（アクセスポイント）ネットワークの接続先を作成する	アドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する	インフラストラクチャー（アクセスポイント）およびアドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する	接続先を手入力で作成する
	↓	↓	↓	↓
6 カメラとパソコンとの間の無線LANを設定する	○（設定可能項目の入力のみ）	–	○*（設定可能項目の入力のみ）	○
	↓	↓	↓	↓
7 TCP/IP を設定する	–	–	–	○
	↓	↓	↓	↓
8 ワイヤレスプリントを設定する	○	○	○	○

* 手順 6 の設定が完了したら、［**アドホック（Ad-hoc）ネットワークの接続先を作成する**］の手順 5 以降の設定を引き続き行います。アドホック・ネットワークの設定が完了したのち、ワイヤレスプリントの設定を行います。

［アドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する］を選択した場合のご注意

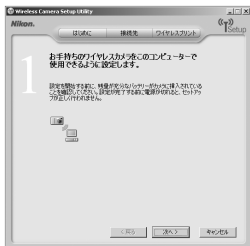
「設定作業の流れ」（P.114）に従って、アドホック・ネットワークを新規に作成して接続先を設定した場合、パソコン側には固定 IP アドレスが設定されます。このため、以下の注意が必要になります。

- あとからインフラストラクチャー・ネットワークを追加する場合は、設定を行う前に、パソコン側の IP アドレスを自動取得に変更してください。また、ネットワークを追加した場合は、カメラとパソコンを USB 接続してセットアップユーティリティーを再度実行し、新しいプロファイルを作成してください。
- 2 台めのカメラを設定する場合など、二度めの設定を行う場合は、すべての設定項目を手動で入力する必要があります（［**接続先を手入力で作成する**］での設定となります）。新しく［**アドホック（Ad-hoc）ネットワークの接続先を作成する**］で接続先の設定を行う場合は、パソコンの IP アドレスを自動取得に変更してください。

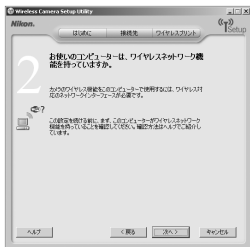
設定作業の詳細

1 カメラのバッテリーに充分な容量があるか、確認を促される

カメラとパソコンを付属の専用 USB ケーブル UC-E6 で接続し、以下の 3 点を確認したのち、[次へ] ボタンをクリックします。

- カメラのバッテリーに十分な容量があるか、もしくは AC アダプターを使用しているか（接続先の設定中に電源が OFF になると、設定は行われません）
- カメラの USB モードが「**PTP**」になっているか
- カメラのモードダイヤルが SET UP になっているか

2 パソコンが無線 LAN に対応しているか、確認を促される

無線 LAN カードがセットされている場合は、[次へ] ボタンをクリックします。

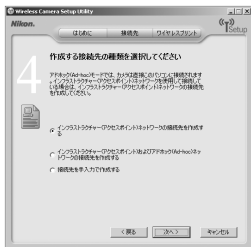
- ［インフラストラクチャー（アクセスポイント）ネットワークの接続先を作成する］、［インフラストラクチャー（アクセスポイント）およびアドホック（**Ad-hoc**）ネットワークの接続先を作成する］、［接続先を手入力で作成する］のいずれかを選択する場合は、お使いのパソコンが無線 LAN に接続されているかどうかも確認してください。

3 カメラとパソコンが USB 接続されているかどうかを確認する

「セットアップユーティリティー」が、カメラとパソコンの接続を確認します。

- カメラとパソコンが接続されていない場合は、警告が表示されますので、正しく接続したのち、［次へ］ボタンをクリックしてください。

4 「セットアップユーティリティー」が表示する選択肢から設定方法を選ぶ

無線 LAN 設定に Windows の OS を使用している場合、設定方法を選択するための画面がパソコンの無線 LAN 設定の状況に応じて表示されますので、ご希望の設定方法を選択してください。以下の手順は、ここで選択した設定方法によって異なります。

- パソコンが固定IPの場合や、WindowsのOS以外を使用して無線LAN設定を行っている場合、Windows XP SP1 をご使用の場合、Macintosh を使用している場合は、自動的に手順 5 に進み［**接続先を手入力で作成する**］の手順で設定を行います。

パソコンにインフラストラクチャー・ネットワークが設定されている場合

パソコンに無線 LAN がひとつも設定されていない場合

- パソコンに複数の無線 LAN アダプターが装着されている場合は、ポップアップメニューから選択することができます。また、選択した無線 LAN アダプターに応じた設定方法が表示されますので、ご希望の設定方法を選択してください。
- 手順5以降の各画面に表示される手順番号は、手順4で選択した設定方法によって異なります。

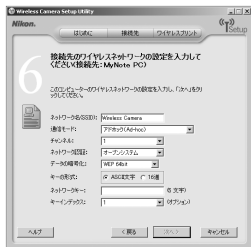
5 接続先名を入力し、カメラに表示されるアイコンを選択する

「**接続先選択画面**」（P.124）に表示するカメラの接続先名を入力し（半角英数字 16 文字まで）、アイコンを選択して、[**次へ**] ボタンをクリックします。

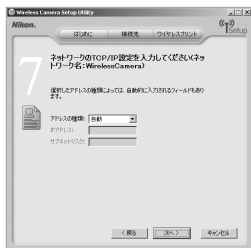
- 接続先名は、「My Note PC」など接続先の機器が判別しやすいものを入力することをお勧めします。

6 カメラとパソコンとの間の無線 LAN を設定する

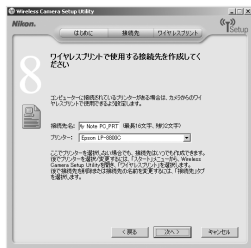
カメラをパソコンに無線 LAN 接続する際の設定を入力します。

- ［**インフラストラクチャー（アクセスポイント）ネットワークの接続先を作成する**］もしくは［**インフラストラクチャー（アクセスポイント）およびアドホック（Ad-hoc）ネットワークの接続先を作成する**］を選択した場合：
  ［**ネットワーク名（SSID）**］から、カメラとパソコンの接続に用いるネットワーク名を選択します。そのほかに設定可能な項目がある場合は、カメラとパソコンの接続に用いる無線 LAN でアクセスポイントに設定されているのと同じ値を入力してください。
- ［**アドホック（Ad-hoc）ネットワークの接続先を作成する**］を選択した場合：
  この設定は行いません。
- ［**接続先を手入力で作成する**］を選択した場合：
  自動的に入力される以外のすべての項目を、カメラとパソコンの接続に用いる無線 LAN の設定に従い、手動で入力します。

7 TCP/IP を設定する

［**接続先を手入力で作成する**］を選択した場合のみ、以下の項目を設定します。

- **アドレスの種類**：
  カメラの IP アドレスの設定方法を、［**自動**］または［**手入力**］から選択します。
- **IP アドレス**：
  ［**アドレスの種類**］で［**手入力**］を選択した場合、カメラの IP アドレスを入力します。

8 ワイヤレスプリントを設定する

パソコンにプリンターが接続されている場合は、ワイヤレスプリント（P.132）で使用するプリンターを選択し、そのプリンターの接続先名とアイコンを設定します。

- ［**インフラストラクチャー（アクセスポイント）およびアドホック（Ad-hoc）ネットワークの接続先を作成する**］を選択した場合は、この手順ではプリンターの設定をせず、自動的に手順 5 に戻って、パソコンに新しいアドホックモードの無線 LAN を設定します。アドホックモードの設定が完了したのち、ワイヤレスプリンターを設定します。
- Macintosh の場合は、［**プリンターの選択…**］ボタンをクリックし、プリンターを選択してください。用紙の選択などプリンターの設定も行えます。
- パソコンにプリンターが接続されていない場合は、プリンターの選択をせず［**次へ**］ボタンをクリックしてください。

ワイヤレスプリント用の接続先について

パソコンにプリンターが接続されている／いないにかかわらず、一回の接続先設定で、カメラにはパソコン用とワイヤレスプリント用のふたつの接続先が設定されます。ワイヤレスプリントを行わない場合は、カメラとパソコンを USB 接続し「セットアップユーティリティー」を起動して、ワイヤレスプリント用の接続先を削除することができます（P.122）。

「接続先」の設定作業についての詳細

「接続先」の設定作業について

「接続先」の設定作業は、接続先として設定するパソコンごとに行う必要があります。

カメラに設定できる接続先数の制限について

カメラには、最大9ヵ所の接続先（パソコン、パソコンに接続されたプリンター、ワイヤレスプリンターアダプターPD-10など）を設定することができます。接続先を9ヵ所設定した状態で、新たな接続先を設定したい場合は、不要な接続先を削除してください（P.122）。10ヵ所目を設定するときに、「セットアップユーティリティー」で不要な接続先を削除することもできます。

パソコンの無線LAN設定の確認について

カメラの「接続先」を設定する際、必要に応じて、パソコンや無線LAN機器の使用説明書などを参考に以下の項目を確認してください。

ネットワーク名 **(SSID)**	パソコンが所属しているネットワークの識別名称を入力。
通信モード	［アドホック（**Ad-hoc**）］または［インフラストラクチャー（アクセスポイント）］のいずれかを選択。いずれの場合もカメラ側とパソコン側で同じ設定を選択する。
チャンネル	パソコンに設定されているチャンネル番号と同じ番号（1 ～ 11）を選択（［アドホック（**Ad-hoc**）］選択時のみ）。
ネットワーク認証	［オープンシステム］、［共有キー］、［**WPA-PSK**］（［インフラストラクチャー（アクセスポイント）］選択時のみ）のいずれかを選択（パソコンの設定と同じ方法を選択）。
データの暗号化	［データを暗号化しない］、［**WEP 64bit**］、［**WEP 128bit**］、［**TKIP**］（［インフラストラクチャー（アクセスポイント）］選択時のみ）のいずれかを選択（パソコンの設定と同じ方法を選択）。
キーの形式	［データの暗号化］で［**WEP 64bit**］または［**WEP 128bit**］を選択した場合、パソコンと同じ設定を選択（［データの暗号化］で［データを暗号化しない］を設定した場合を除く）。.
ネットワークキー	パソコンに設定されたセキュリティキーを入力（［データの暗号化］で［データを暗号化しない］を設定した場合を除く）。
キーインデックス	［データの暗号化］で［**WEP 64bit**］または［**WEP 128bit**］を選択した場合、パソコンと同じ設定を選択します（［データの暗号化］で［データを暗号化しない］を設定した場合を除く）。初期設定は［**1**］。
アドレスの種類	カメラのIPアドレスの設定方法を、［自動］または［手入力］から選択。
IP アドレス	［アドレスの種類］で［手入力］を選択した場合、カメラのIPアドレスを入力。

ワイヤレス転送のネットワーク認証とデータの暗号化について

このカメラは、次の組み合わせをサポートしています（AES 暗号方式には対応していません）。

ネットワーク認証	オープンシステム	共有キー	WPA-PSK
データの暗号化	無効（データを暗号化しない）／WEP	WEP	TKIP

データの暗号化方式を変更した場合、セキュリティが低下する場合があります（TKIP、WEP、無効（データを暗号化しない）の順にセキュリティが低くなります）。

MAC アドレスフィルタリングでアクセス制限されている場合

カメラを接続する無線 LAN 環境が MAC アドレスフィルタリングでアクセス制限されている場合は、MAC アドレスフィルタリングにカメラの MAC アドレスを追加登録する必要があります。カメラの MAC アドレスは、セットアップメニューの「バージョン情報」画面で確認することができます（P.110）。

ポート番号について

無線通信では UDP ポート番号 5353、TCP ポート番号 15740 を使用しています。
ファイアウォールを設定しているパソコンや無線 LAN アクセスポイントと接続する場合、ファイアウォールの設定変更が必要な場合があります。

接続先情報を確認する

「セットアップユーティリティー」を使うと、カメラに設定された接続先情報の詳細確認や、名称変更、削除を行うことができます。

1 「セットアップユーティリティー」を起動する

2 ［接続先］タブを選択する

カメラに設定済みの接続先名がリスト表示されますので、任意の接続先名を選択します。接続先の詳細確認を行う場合は［**詳細表示**］ボタンを、接続先名の変更を行う場合は［**名前の変更**］ボタンを、削除する場合は［**削除**］ボタンをクリックします。

パソコンに画像を転送する

ワイヤレス転送モードでできること

ワイヤレス転送モードでは、以下の方法で画像をパソコンに保存またはプリントすることができます。

簡単転送	内蔵メモリーまたは SD カードにある画像とパソコンに保存されている画像を比較し、パソコンに保存されていない画像のみを転送します。	P.126
撮影日転送	撮影日を指定して画像を転送します。	P.127
転送マーク画像転送	転送マーク（**∿**）（P.97）を付けた画像のみを転送します。	P.128
選択画像転送	任意に選択した画像のみを転送します。	P.129
撮影 & 転送	撮影した画像をすぐに転送します。撮影した画像を確認して必要な画像のみ転送したり、同時に内蔵メモリーまたはSD カードに保存することができます。	P.130
PC モード	パソコンからの操作で、画像を転送します。転送には、PictureProject Transfer を使用することができます。	P.131
ワイヤレスプリント	パソコンに接続しているプリンターに画像を送り、プリントすることができます。	P.132
	PictBridge 対応プリンターにワイヤレスプリンターアダプター PD-10（別売）を接続すると、パソコンを経由せず、カメラからワイヤレス接続で直接プリンターに画像を送り、プリントすることができます。	P.133

✔ 操作音について

ワイヤレス転送モードでは、「**操作音**」（P.107）の設定にかかわらず、設定音や警告音、シャッター音、オープニング音は鳴りません。

✔ 無線接続中のモードダイヤル操作について

無線接続中にモードダイヤルを切り換えると、接続が切断され、画像の転送が中断されます。

✔ ワイヤレス転送モード時のご注意

何も操作しないと、約 3 分でオートパワーオフ機能が作動して、液晶モニターが消灯します。転送中でも液晶モニターは消灯しますが、転送は継続されます。

✔ SDカードが書き込み禁止になっている場合

SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていると、画像の転送は行えません（「**PC** モード」時を除く）。必ずロックを解除してから、転送操作を行ってください（P.23）。

パソコンに画像を転送する

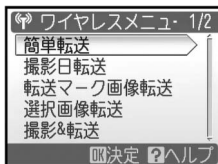
「ワイヤレスメニュー」の表示方法

モードダイヤルを 📶 に合わせ、電源を ON にする

- 「**接続先選択**」画面が表示され、最後に接続した接続先から順に表示されます（手順 1 および 2 の画面は表示例です。実際には「セットアップユーティリティー」で設定した接続先名（P.117）が表示されます）。
- 接続先選択画面で ❓（情報）ボタンを押すと、選択している接続先のネットワーク名（SSID）やパソコン／プリンターの種別などが表示されます。接続できないときに、接続先の設定とカメラに保存されている設定内容が同じかどうか確認することができます。

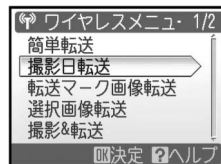
2

接続するパソコンを選ぶ

3

「ワイヤレスメニュー」を表示する

無線 LAN に接続し、通信が確立すると、カメラの液晶モニターに「**ワイヤレスメニュー**」が表示されます。

- Macintosh でアドホックモードをご利用の場合は、OK ボタンを押したあと、Mac OS X のメニューバーの AirMac アイコンをクリックして、メニューを表示してください。メニューから手順 2 で選んだ接続先を選択すると、通信が確立します。
- 通信が確立する前に OK ボタンを押すと、「**接続先選択**」画面に戻ります。

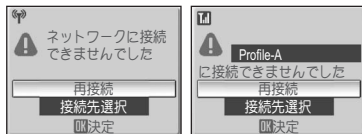
4

画像の転送を行うためのメニュー項目を選択する

- 各メニュー項目の詳細は、126 ページ以降をご覧ください。

受信感度の表示について

ワイヤレス転送モードで通信中の電波の強さ（受信感度）は画面に 5 段階のアイコンで表示されます（圏外の場合は、赤い色で表示されます）。電波状態がよくない場合は、カメラとパソコンの間の距離を近づけたり、障害物を取り除いてください。

エラーメッセージが表示された場合

接続先への接続に失敗した場合や、ワイヤレスメニューを選択したのち接続先への接続に失敗した場合は、右のエラーメッセージが表示されます。
いずれの場合も、選択したパソコンまたはアクセスポイントを確認し、エラーの原因を取り除いてください。その後、「**再接続**」を選択して ⓀⓀ ボタンを押すと、接続を再開します。「**接続先選択**」を選択すると、接続を中止して接続先選択に戻ります。エラーの原因によって「**再接続**」を選択できない場合は「**接続先選択**」を選択してください。

ワイヤレス転送 LED について

カメラ側面のアンテナ部内にあるワイヤレス転送 LED（P.15）の意味は以下のとおりです。

点滅：接続先サーチ中、点灯：接続中／データ転送中、消灯：未接続状態

なお、一定時間転送が行われない場合、カメラの電力消費を抑えるため、LED が点滅に切り替わる場合があります。

中断された転送の再開について

バッテリーの残量がなくなったことなどにより、無線 LAN 接続での画像転送が中断された場合は、再転送することができます。ワイヤレス転送モードを選択したときに「中断された転送を再開しますか？」のメッセージが表示されますので「**はい**」を選択してください。転送できなかった画像の転送を再開します。転送しない場合は「**いいえ**」を選択してください。

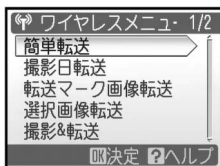
カメラの OK ボタンについて

ワイヤレス転送モードでは、カメラの OK ボタンは選択したメニューを実行させる働きしかありません。USB 接続で PictureProject を使用するとき（P.64）のように、カメラ側の OK ボタンを押すことで 〜（転送マーク）の付いた画像を転送するなどは行えませんので、ご注意ください。ワイヤレス転送モードでの画像転送については、123 ～ 131 ページで説明している操作に従ってください。

ワイヤレスプリンターアダプター（別売）の接続先設定

「接続先選択」画面で MENU ボタンを押すと、別売のワイヤレスプリンターアダプター PD-10 を接続先として設定できます。ワイヤレスプリンターアダプターについて詳しくは、ワイヤレスプリンターアダプターの使用説明書をご覧ください。

パソコンに保存されていない画像を転送する―簡単転送

1

「ワイヤレスメニュー」で、「簡単転送」を選ぶ

2

画像を転送する

OK ボタンを押すと、接続先との接続を確認する画面が表示されたあとに、パソコン内に保存されていない画像を転送します。

3

転送が完了したら、OK ボタンを押して、「接続先選択」画面に戻る

- ワイヤレス転送モードを終了する場合は、モードダイヤルを他のモードに合わせてください。カメラの使用を終了する場合は、そのままカメラの電源をOFF にしてください。

接続先との接続を確認する画面

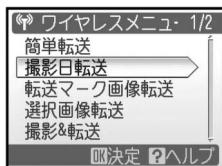
「ワイヤレスメニュー」で各項目を選択し OK ボタンを押すと、接続先との接続を確認する画面が表示されます。各転送モードでの動作は、この画面が表示されたのちに行われます。

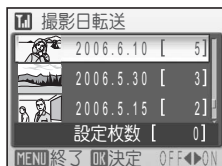
- この画面が表示されているときに OK ボタンを押すと、「**接続先選択**」画面に戻ります。

転送画像の保存先

- ワイヤレス転送モード（P.126 〜 131）でパソコンに転送した画像は、以下の場所に保存されます。
  Windows XP の場合　：［**マイピクチャ**］フォルダ内の［**PictureProject**］フォルダ
  Macintosh の場合　　：［**ピクチャー**］フォルダ内の［**PictureProject**］フォルダ
- PictureProject がインストールされているパソコンでは、「**PC モード**」以外のワイヤレス転送モード（P.126 〜 130）で画像を転送すると、PictureProject が自動的に起動し、転送された画像を表示します。また、保存先を変更することができます。
- PictureProject がインストールされていないパソコンでは、エクスプローラ（Windows の場合）または Finder ウィンドウ（Macintosh の場合）が開き、保存先を示します。保存先の変更はできません。
- PictureProject がインストールされていないパソコンに、「**PC モード**」（P.131）でカメラを接続した場合は、パソコンに接続して表示されたカメラアイコンやドライブから、任意の場所に画像をドラッグ&ドロップして保存してください。

撮影日を指定して転送する―撮影日転送

1

「ワイヤレスメニュー」で、「撮影日転送」を選ぶ

2

「撮影日転送」画面を表示する

接続先との接続を確認する画面（P.126）が表示されたあとに、「**撮影日転送**」画面が表示されます。

3

転送する画像を撮影した日付を選ぶ

マルチセレクターの右を押すと、設定された日付には、(ワイヤレス転送マーク)（ワイヤレス転送）マークが表示されます。

- 転送する撮影日をすべて選択します。
- マルチセレクターの左を押すと、設定がキャンセルされます。

4

指定した撮影日の画像を転送する

5

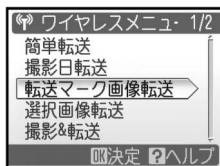
転送が完了したら、OK ボタンを押して、「撮影日転送」画面に戻る

- ワイヤレス転送モードを終了する場合は、モードダイヤルを他のモードに合わせてください。カメラの使用を終了する場合は、そのままカメラの電源をOFF にしてください。

「撮影日転送」で対象外になる画像について

日時設定のない画像（P.24、102）は対象外となります。

転送マーク付き画像を転送する―転送マーク画像転送

1

「ワイヤレスメニュー」で、「転送マーク画像転送」を選ぶ

2

画像を転送する

Ⓚ ボタンを押すと、接続先との接続を確認する画面（P.126）が表示されたあとに、（転送）マーク（P.97）のついている画像をすべて転送します。

3

転送が完了したら、Ⓚ ボタンを押して、「接続先選択」画面に戻る

- ワイヤレス転送モードを終了する場合は、モードダイヤルを他のモードに合わせてください。カメラの使用を終了する場合は、そのままカメラの電源をOFF にしてください。

画像を選択して転送する—選択画像転送

1

「ワイヤレスメニュー」で、「選択画像転送」を選ぶ

2

「選択画像転送」画面を表示する

OK ボタンを押すと、接続先との接続を確認する画面（P.126）が表示されたあとに、「**選択画像転送**」画面が表示されます。

3

転送する画像を選ぶ

転送する画像を中央に表示させ、マルチセレクターの上を押します。設定された画像には（ワイヤレス転送）マークが表示されます。

- 転送する画像をすべて選択します。
- マルチセレクターの下を押すと、設定がキャンセルされます。

4

画像を転送する

5

転送が完了したら、OK ボタンを押して、「選択画像転送」画面に戻る

- ワイヤレス転送モードを終了する場合は、モードダイヤルを他のモードに合わせてください。カメラの使用を終了する場合は、そのままカメラの電源をOFF にしてください。

✔ ワイヤレス転送マークについて

ステップ 3 で画像に表示された（ワイヤレス転送）マークは、転送後消去されます（転送が終了すると、画像の選択は解除されます）。

撮影した画像をすぐに転送する—撮影&転送

1

「ワイヤレスメニュー」で、「撮影&転送」を選ぶ

2

撮影画面を表示する

Ⓚ ボタンを押すと、接続先との接続を確認する画面（P.126）が表示されたあとに、撮影画面に変わります。

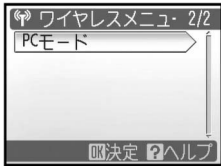
3

撮影する

撮影すると、パソコンに画像が転送されます。転送完了後は、ステップ 2 の撮影画面に戻ります。（画像転送が終了するまで、次の撮影は行えません。）

- 「**転送確認**」画面が表示された場合は、「**はい**」を選択します。撮影した画像をパソコンに転送しない場合は、「**いいえ**」を選択します。

設定を変えるには

撮影画面を表示しているときに MENU ボタンを押すと、「**撮影&転送**」画面が表示され、以下の設定を変更できます。

転送確認	**OFF**	撮影した画像をすぐにパソコンに転送します。
	ON	撮影するたびに、撮影した画像をパソコンに転送するかどうかの確認メッセージを表示します。
画像保存	**OFF**	撮影した画像はパソコンに転送するだけで、内蔵メモリーまたはSDカードには保存しません。
	ON	撮影した画像を内蔵メモリーまたは SDカードにも保存します。

「**画像保存**」を「**OFF**」に設定して撮影&転送中に通信エラーが発生した場合は、撮影した画像が保存されません。大切な撮影を行う場合は、画像保存することをおすすめします。

✔ 撮影できる機能について

- 「**撮影&転送**」を設定している間は、📷（オート撮影）（P.26）モードになります。また、ワイヤレス転送モード中にモードダイヤルを動かすと接続が切れますので、「**撮影&転送**」を開始する前に、画像モード（P.45）を設定してください。

パソコンからの操作で画像を転送する—PC モード

1

「ワイヤレスメニュー」で、「PC モード」を選ぶ

2

パソコンと接続する

Ⓚ ボタンを押すと、パソコンのモニターに「PictureProject Transfer」画面が表示されます。

PictureProject の［**転送**］ボタンをクリックすると、画像が転送されます。

同じネットワーク名（**SSID**）が複数のパソコンに設定されている場合

「**接続先選択**」画面で指定した接続先と同じネットワーク名（SSID）の接続先がカメラに複数設定されていて、その中の複数台のパソコンが起動している場合も、カメラは「**接続先選択**」画面（P.123）で選択したパソコンにのみ接続されます。

PC モード時のご注意

転送操作は、必ずパソコンから行ってください。

- PictureProject を使用している場合は PictureProject Transfer をご利用ください。
- PictureProject を使用していない場合は、パソコンに接続して表示されたカメラアイコンやドライブから、任意の場所に画像をドラッグ&ドロップして保存してください。

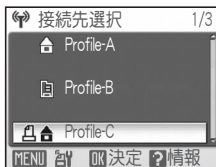
プリンターに画像を転送する

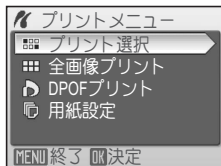
パソコンに接続したプリンターからプリントする―ワイヤレスプリント

1

モードダイヤルを (ワイヤレス) に合わせ、電源を ON にする

- 「**接続先選択**」画面が表示され、最後に接続した接続先から順に表示されます。
- 「**接続先選択**」画面で ?（情報）ボタンを押すと、選択している接続先のネットワーク名（SSID）やパソコン／プリンターの種別などが表示されます。接続できないときに、接続先の設定とカメラに保存されている設定内容が同じかどうか確認することができます。

2

接続するプリンター（プリンターアイコンが表示されている接続先）を選ぶ

3

画像を指定してプリントする

ワイヤレス転送の接続画面が表示された後に、「**プリントメニュー**」が表示されます。ダイレクトプリントのステップ 2 以降（P.72）と同様に、プリントする画像やプリント方法、用紙サイズを指定してプリントできます。

無線 LAN を経由する場合の注意

無線 LAN 上にあるパソコンに、アクセスポイント経由でカメラを無線接続する場合、そのパソコンと同じネットワーク上にあるプリンターのみ利用できます。ルーターで接続された他のネットワーク（アクセスポイントが異なるネットワーク）上にあるプリンターは利用できません。

パソコンに複数のプリンターが接続されている場合

使いたいプリンターが接続されているパソコンでセットアップユーティリティーを起動し、［**ワイヤレスプリント**］タブを選択して、プリンターを選択してください（P.122）。

プリンターに直接画像を転送するーワイヤレスプリンターアダプター PD-10

PictBridge 対応プリンターにワイヤレスプリンターアダプター PD-10（別売）を接続すると、パソコンを経由せず、カメラからワイヤレス接続で直接プリンターに画像を送り、プリントすることができます。
詳しくはワイヤレスプリンターアダプター PD-10 の使用説明書をご覧ください。

別売アクセサリー

このカメラには次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-61*
ACアダプター	AC アダプターキット EH-62A*
ソフトケース	ソフトケース CS-CP14
ワイヤレスプリンターアダプター	ワイヤレスプリンターアダプター PD-10

* 日本国内専用電源コード（AC100V 対応）。日本国外で使用する場合は、別売の電源コードが必要です。

推奨メモリーカード一覧

以下の SD メモリーカードが動作確認されております。

SanDisk 製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB / 256MB*、512MB*、1GB*
東芝製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB / 128MB*、256MB*、512MB*
Panasonic 製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB / 256MB*、512MB*、1GB*
Nikon 製	512MB*、1GB*

* 10MB/s の高速タイプ

- 上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。最新の動作確認済みメモリーカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードはお使いいただけません。
- 必ずこのカメラで「**標準初期化**」（P.108）してからお使いください。
- SDカードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- 初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などには、
  - カードの着脱をしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源を OFF にしないでください
  - AC アダプターを外さないでください

  記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ
レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手でさわらないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。

液晶モニター
ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体
ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用したあとは、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取ったあと、よく乾かしてください。

注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

※クリーニングの際、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について
長期間カメラを使用しないときはバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前にカメラの電源が OFF になっていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50 ℃以上、または－ 10 ℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ると、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源 OFF の状態で行ってください

電源 ON の状態で、バッテリーの取り出し、AC アダプターの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアーについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミアー現象といいますが、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●AF 補助光について

AF 補助光（P.106）に使用されている LED（発光ダイオード）は以下のIEC規格に準拠しています。

クラス 1 LED製品

IEC60825-1 Edition 1.2-2001

バッテリーの取り扱いについて

バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食されたり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。

●バッテリー使用上のご注意

- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- 周囲の温度が0 ℃～40 ℃の範囲を超える場所で使用しないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。充電は室温（5 ℃～ 35 ℃）で行ってください。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- バッテリーをカメラやバッテリーチャージャーから取り外した場合は、必ず付属の端子カバーを付けてください。

●撮影の前にバッテリーをあらかじめ充電する

- 撮影前に、バッテリーを充電してください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんのでご注意ください。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がる場合がありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなる場合は、バッテリーの温度が下がるのを待ってから、充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によっては入手や充電が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、充分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、ご注意ください。

●バッテリーの残量について

残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してご使用ください。

●バッテリーの保管について

- バッテリーを使用しないときは、カメラやバッテリーチャージャーから必ず取り外してください。バッテリーをカメラに入れたままにしたり、バッテリーチャージャーにセットしたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので過放電になり使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーをしばらく使用しない場合は、使い切った状態で保管してください。
- 長期間保管する場合は、年に1回程度充電した後、使い切った状態で保管してください。
- 付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が 15 ～ 25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

●バッテリーの寿命について

- 充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。

●バッテリーのリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

警告メッセージについて

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下の通りです。

液晶モニターの表示	原因	対処方法	P
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	P.24
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源を OFF にして充電済みのバッテリーと交換してください。	P.18
〖 〗（AF エリアの赤色点滅）AF●（AF 表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	P.89
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中に以下の操作をしました。 • カメラの電源をOFFにする • ▶ ボタンを押す • モードダイヤルを切り換える	画像の記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	P.28
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」にセットされています。	「LOCK」を解除してください。	P.23
このカードは使用できません	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのSDカードをご使用ください。 • SDカードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 • 電源を OFF にして、SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。	P.134 P.22
カードに異常があります			
初期化されていません 初期化する いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。	「**初期化する**」を選択し、OK ボタンを押して SDカードを初期化してください。	P.23 P.108
メモリー残量がありません IN または	画像を記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SDカードを交換してください。	P.45 P.29 P.96 P.22
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、OK（転送）ボタンを押した場合のみ）	不要な画像を削除し、再度 OK（転送）ボタンを押してください。	P.96

液晶モニターの表示	原因	対処方法	P
画像を保存できません または	画像をコピーしようとしましたが、コピー先のメモリー容量が足りません。	• コピー先のメモリーを初期化してください。 • 新しいSDカードに入れ換えるか、内蔵メモリー／SDカード内の不要な画像ファイルを削除してください。	P.108 P.22 P.29 P.96
	ファイル番号のオーバーフローです。	• 新しいSDカードに入れ換えてから、「**設定クリアー**」を行ってください。 • 内蔵メモリーまたはSDカードを初期化してから、「**設定クリアー**」を行ってください。	P.22 P.108 P.110
	トリミングできない画像です。	トリミングできる画像をご確認ください。	P.56
動画記録できません	• 動画の保存中にエラーが発生しました。 • SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	• SDカードを標準初期化してください。 • 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	P.108 P.22 P.58
撮影画像がありません	内蔵メモリー／SDカードに撮影された画像が入っていません。	• 撮影したにもかかわらず、このメッセージが表示される場合は、カメラの電源をOFFにして、再度ONにしてください。この現象が続く場合は、ニコンサービスセンターにご連絡ください。	P.26
		• 再生モードになっているときは、▶ボタンを押して撮影モードに切り換え、画像を撮影してください。	P.28
		• 内蔵メモリーの画像を表示させたい場合は、SDカードを取り出してください。	P.23
このファイルは 表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	–
表示可能な画像が ありません	SDカードまたは内蔵メモリーにこのカメラで再生できる画像が入っていません。		
このファイルは 削除できません	プロテクト設定された画像を削除しようとしました。	再生メニューで「**プロテクト設定**」を解除してください。	P.96
自宅と訪問先が 同じタイムゾーンです	ワールドタイムの設定で、自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しようとしました。	自宅と訪問先のタイムゾーンを再度確認してください。自宅と訪問先のタイムゾーンが同じであれば設定する必要はありません。	P.102
モードダイヤル位置が ずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを回して、モードダイヤル左側の ● マークにいずれかのモードをセットしてください。	P.14

液晶モニターの表示	原因	対処方法	P
AUTOでは設定可能なメニューはありません ⚠	📷（オート撮影）モード時に MENU ボタンが押されました。	モードダイヤルが 📷（オート撮影）の場合、表示可能なメニュー画面はありません。	–
レンズエラー ⚠	レンズ駆動中にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、再度ONにしてください。この現象が続く場合は、ニコンサービスセンターにご連絡ください。	P.26
通信エラー	パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、SDカードが取り出されました。	パソコンのモニターに警告メッセージが表示された場合は、［**OK**］をクリックして PictureProject を終了してください。カメラの電源を OFF にしたあと、ケーブルを接続し直すか、SDカードを交換して、もう一度電源をONにして転送してください。	P.22 P.64
	パソコンが何らかの処理を行っています。	パソコンのモニターに警告メッセージが表示された場合は［**OK**］をクリックし、パソコンの処理が終わるのを待ってから転送してください。	–
	ご使用のパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラの Ⓞ（転送）ボタンで転送できません。	カメラの電源をOFFにし、いったんUSBケーブルを外してセットアップメニューの「**USB**」を変更し直したあと、パソコンと再度接続してください。 この操作で警告メッセージが消えない場合には、PictureProject の［**転送**］ボタンをご使用ください。	P.64 P.66 P.68
転送マーキングされた画像がありません	転送設定された画像がないときに Ⓞ（転送）ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	• カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも1枚以上の画像に転送設定を指定して、再度転送してください。 • PictureProject の［**転送**］ボタンをご使用ください。	P.64 P.66 P.68
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	• カメラとパソコンが正しく接続されていること、およびバッテリーの残量が充分であることを確認してください。 • ACアダプターキット EH-62A（別売）がしっかり接続されていることを確認してください。	P.64 P.26 –
システムエラー ⚠	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにし、バッテリーを取り外します。ACアダプターキットを使用している場合は取り外します。再度バッテリーを入れるか、ACアダプターキットを取り付けて電源をONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	P.20
プリンターエラー ⚠プリンターを確認してください	ご使用のプリンターにエラーが発生しました。	プリンターの使用説明書をお読みになり、エラーの原因を取り除いてください。	–

付録

ワイヤレス転送モードの警告メッセージ

液晶モニターの表示	原因	対処方法	P
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	電波状態を確認してください。 カメラと接続先を近づけてみてください。またはカメラと接続先の間に障害物がある場合は取り除いてください。	–
接続設定されていません 接続設定を行ってください	ワイヤレス転送で使用できる接続先が設定されていません。	Wireless Camera Setup Utility やワイヤレスプリンターアダプター PD-10 で接続先を設定してください。	P.116
ネットワークに接続できませんでした	ワイヤレスネットワークに接続できませんでした。	選択したパソコンまたはアクセスポイントを確認してください。 ネットワーク設定を確認してください。	P.125
電池残量がありません 転送を中止しました	画像転送中にバッテリー残量がなくなりました。	バッテリーを充電してから、再度ワイヤレス転送モードでカメラの電源を ON してください。	P.18
（接続先） に接続できませんでした	選択した接続先に接続できません。	選択したパソコンを確認してください。	P.125
接続エラー	ネットワーク接続中に、接続先とワイヤレス接続できなくなりました。	電波状態を確認してください。 カメラと接続先を近づけてみてください。またはカメラと接続先の間に障害物がある場合は取り除いてください。	–
プリンターの接続先 設定に失敗しました	プリンターの接続先設定ができませんでした。	プリンターの電源が ON になっていて、プリンターの印刷準備が完了しているかどうか確認してください。*	–
ワイヤレスプリンター アダプターに接続 できませんでした	ワイヤレスプリンターアダプターに接続できませんでした。	電波状態を確認してください。 カメラとプリンターを近づけてみてください。またはカメラとプリンターの間に障害物がある場合は取り除いてください。	–

* 詳しくはワイヤレスプリンターアダプター PD-10 に付属の使用説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。ACアダプターキットをご使用時は、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは、失われるおそれがありますが、すでに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをご確認ください	P
画像がブレる	• 手ブレ補正機能を有効にして撮影します。 • 撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。 – フラッシュを使用してください。 – BSS（ベストショットセレクター）機能を使用してください。 – 三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	P.50 P.30 P.84 P.32
液晶モニターに何も映らない	• カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリー／SDカードカバーがしっかりと閉まっていません。 • バッテリーの残量がありません。 • ACアダプターキット EH-62A（別売）が正しく接続されていません。 • オートパワーオフ機能が作動しています。シャッターボタンを半押ししてください。 • バッテリーが残り少ない状態（▭）でフラッシュが充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • USBケーブルが接続されています。 • オーディオビデオケーブルが接続されています。	P.26 P.20 P.26 – P.107 P.26 – –
カメラの電源が突然切れる	• バッテリーの残量がありません。 • バッテリーの温度が低すぎます。	P.26 P.137
液晶モニターに画像モードなど、カメラの撮影情報や画像の情報が表示されない	• 撮影情報や画像情報を非表示に設定している可能性があります。セットアップメニューの「**モニター設定**」で「**モニター表示設定**」が「**情報 OFF**」以外に設定してあるか確認してください。	P.103
液晶モニターの画面がよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動してください。 • 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	P.136 P.103 P.136

こんなときは	ここをご確認ください	P
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しています：フラッシュが充電中です。 • 液晶モニターに「初期化されていません」というメッセージが表示されます：SDカードがこのカメラ用に初期化されていません。 • 液晶モニターに「カードがロックされています」というメッセージが表示されます：SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」にセットされています。 • 液晶モニターに「メモリー残量がありません」というメッセージが表示されます：内蔵メモリー／SDカードに画像を記録する空き容量がありません。	P.26 P.26 P.31 P.23 P.108 P.23 P.138
撮影した画像が暗すぎる （露出不足）	• フラッシュが発光禁止になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体がフラッシュの光が届かない位置にあります。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。	P.30 P.27 P.30 P.34
撮影した画像が明るすぎる （露出オーバー）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	P.34
ピントが合わない	• 撮影時に、AF表示とAFエリアが緑色に点灯したか確認してください。 • オートフォーカスが苦手な被写体です。 • AF 補助光が「**OFF**」に設定されています。	P.28 P.149 P.106
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはフラッシュを使用してください。 SCENE（シーン）モードの（夜景ポートレート）、（夜景）、（トワイライト）が設定されている場合は、シャッタースピードが低速になるとノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードに設定することをおすすめします。	P.30 P.37 P.38 P.39
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	• フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを発光禁止にして撮影するか、ズームの望遠側で撮影してください。	P.30 P.27
フラッシュが発光しない	• フラッシュが発光禁止になっています。次の場合、フラッシュは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： – SCENE（シーン）モードの（風景）、（夜景）、（夕焼け）、（トワイライト）、（打ち上げ花火）、（ミュージアム）、（スポーツ）が設定されている場合 – モードダイヤルを モードに合わせている場合（微速度撮影時は除く） – **P**、**A** モードで連写モード（P.82）が「**連写**」、「**マルチ連写**」、「**UH 連写**」または「**サーキュラー連写**」に設定されている場合 – **P**、**A** モードで「**BSS**」が「**ON**」になっている場合 – **P**、**A** モードで「**ブラケティング**」が「**ON**」に設定されている場合	P.30 P.35 P.60 P.82 P.84 P.85
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	P.48

付録

こんなときは	ここをご確認ください	P
画像または音声を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像または音声が上書きされました。または名前が変更されました。	–
画像を編集（スモールピクチャー、トリミング、D-ライティング）できない	• 表示画像がすでに編集された画像です。 • 内蔵メモリー／SDカードの空き容量が少ない場合、画像を編集できない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	P.152 P.96
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が 320 × 240 以下にトリミングされています。	P.55
カメラをパソコンに接続時、またはSDカードをカードリーダーやカードスロットに入れたときに、PictureProjectが自動的に起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • AC アダプターキット EH-62A（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 • USB ケーブル UC-E6 が正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプター、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • セットアップメニューの「**インターフェース**」で「**USB**」を「**PTP**」に設定しています（Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE の場合）。 PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご覧ください。	P.26 P.26 – P.64 – P.64
電波状態が悪い	• 接続先を設定してください。 • アクセスポイントと近づけてみてください。 • カメラと接続先の間にある、障害物を取り除いてください。 • カメラの向きを変えてみてください。	P.116 –
途中で転送が中断して画像が転送できなかった	• カメラの電源をいったん OFF にして再度 ON にしてください。	P.125

資料集

初期設定一覧 （P.110）

セットアップメニューの「**設定クリアー**」（P.110）で初期設定に戻る項目は、以下の通りです。

シーンメニュー項目	初期設定
SCENE	顔認識ポートレート
アドバンストシーン	標準

撮影メニュー項目	初期設定
ホワイトバランス	オート
測光方式	マルチパターン
連写	単写
インターバル撮影のインターバル設定	30 秒
BSS	OFF
ブラケティング	OFF
階調補正	オート
輪郭強調	オート
彩度調整	標準
ISO 感度設定	オート
画質	NORMAL
画像サイズ	8M 3264 × 2448
AF エリア選択	オート
AF-MODE	シングル AF
ズーム時 F 値保持	OFF
ノイズ除去	OFF

動画メニュー項目	初期設定
動画設定	TV 再生 640
微速度撮影のインターバル設定	30 秒
AF-MODE	シングル AF

再生メニュー項目		初期設定
スライドショー	エンドレス	OFF

セットアップメニュー項目		初期設定
メニュー切り換え		アイコンタイプ
オープニング画面		アニメーション
モニター設定	モニター表示設定	情報 ON
	画面の明るさ	3
デート写し込み		OFF
撮影確認 LED		OFF
AF 補助光		AUTO
操作音	設定音	ON
	シャッター音	標準
	オープニング音	標準
オートパワーオフ		1 分
転送設定		ON

ボタン設定項目	初期設定
フラッシュモード	⚡AUTO
露出補正	0
セルフタイマー	OFF
フォーカスモード	通常 AF
A（絞り優先オート）モード時の絞り値	F2.7
P（プログラムオート）モード時のプログラムシフト量	0
手ブレ補正	ノーマル

ワイヤレス転送モード項目		初期設定
撮影転送	転送確認	OFF
	画像保存	OFF

- 「**設定クリアー**」を行うと、ファイル番号の連番（P.149）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー／SDカード内の最大ファイル番号の次番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を0001に戻したいときは、内蔵メモリー／SDカード内の画像をすべて削除（P.96）してから、「**設定クリアー**」を行ってください。
- セットアップメニューの以下の項目は、「**設定クリアー**」を行っても初期設定には戻りません。
  「**日時設定**」（P.102）、「**誕生日カウンター**」の登録日（P.105）、「**言語**」（P.108）、「**インターフェース**」（P.109）の「**USB**」と「**ビデオ出力**」

画像モードと記録可能コマ数（P.45）

画質と画像サイズをそれぞれ設定した画像モードで、内蔵メモリーや256MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

画質について

設定	内容	圧縮率
FINE	精細な画質で、画像を拡大する場合や、プリンターで細かく表現したい場合などに適しています。画像データは約1/4に圧縮されます。	低
NORMAL （初期設定）	通常の記念撮影などにはこの画質モードを使用します。画像データは約1/8に圧縮されます。	↕
BASIC	電子メールに添付したりホームページに掲載したりする場合に適しています。画像データは約1/16に圧縮されます。	高

画像サイズについて

用途に適した画像サイズを次の6種類から選択します。

設定（画像サイズ：ピクセル）	プリント時のサイズ *
8M **3264 × 2448** （初期設定）	約 28 ×21 cm
5M **2592 × 1944**	約 22 ×16 cm
3M **2048 × 1536**	約 17 ×13 cm
PC **1024 × 768**	約 9 × 7 cm
TV **640 × 480**	約 5 × 4 cm
3:2 **3264 × 2176**	約 28 ×18 cm

* 画像解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズはプリンターの解像度によって変わります。

記録可能コマ数（P.45）

画像モード		内蔵メモリー（約 23MB）	SD カード（256MB）
画像サイズ	画質		
3264 × 2448（初期設定）	FINE	6	60
	NORMAL	12	120
	BASIC	23	235
2592 × 1944	FINE	9	95
	NORMAL	18	190
	BASIC	36	370
2048 × 1536	FINE	15	150
	NORMAL	29	295
	BASIC	56	560
1024 × 768	FINE	56	560
	NORMAL	104	1015
	BASIC	181	1690
640 × 480	FINE	128	1265
	NORMAL	217	2175
	BASIC	331	3045
3264 × 2176	FINE	6	95
	NORMAL	13	135
	BASIC	26	265

- 記録可能コマ数が 10000 コマ以上の場合、液晶モニターには「9999」と表示されます。

動画設定と記録可能時間（P.58）

それぞれの動画設定で、内蔵メモリー（約 23MB）や 256MB の SD カードに記録できるおおよその撮影時間は以下のとおりです。SD カードの種類や撮影条件によって、数値は増減することがあります。

設定	撮影総記録時間	
	内蔵メモリー（約 23MB）	SD カード（256MB）
TV 再生 640*（初期設定）	16 秒	2 分 50 秒
カメラ再生 320	38 秒	6 分 25 秒
長時間再生 160	2 分 27 秒	24 分 50 秒
微速度撮影 640	19 秒（584 コマ）	35 秒（1050 コマ）

* 「**TV 再生 640**」で撮影する場合は、パッケージなどに「10MB/s」と記載している高速タイプの SD カードを使用すると、容量いっぱいまで連続で撮影できます。

付録

シーンモードの設定内容 (P.37)

各シーンモードの初期設定は以下の通りです。[ ] で囲んだ項目は、設定を変更できません。いずれの項目も、電源を OFF にする／モードダイヤルを切り換える／再生モードに入る／セットアップメニューの「**設定クリアー**」を行うと、初期設定に戻ります。

シーンモード (P.35)	フラッシュモード (P.30)	フォーカスモード (P.33)	セルフタイマー (P.32)	露出補正 (P.34)	AF 補助光 (P.28)
顔認識ポートレート	赤目軽減	[AF]	OFF	0.0	[AUTO]
ポートレート	赤目軽減	[AF]	OFF	0.0	[AUTO]
パーティー	赤目軽減／AUTO	[AF]	OFF	0.0	[AUTO]
夜景ポートレート	赤目軽減／AUTO	[AF]	OFF	0.0	[AUTO]
風景	[発光禁止]	[遠景]	OFF	0.0	[OFF]
パノラマアシスト	発光禁止	AF／マクロ	OFF	0.0	[AUTO]
夜景	[発光禁止]	[遠景]	OFF	0.0	[OFF]
海・雪	AUTO	AF／マクロ	OFF	0.0	[AUTO]
夕焼け	[発光禁止]	[遠景]	OFF	0.0	[OFF]
トワイライト	[発光禁止]	[遠景]	OFF	0.0	[OFF]
打ち上げ花火	[発光禁止]	[遠景]	[OFF]	[0.0]	[OFF]
逆光	[強制発光]	[AF]	OFF	0.0	[AUTO]
クローズアップ	発光禁止	[マクロ]	OFF	0.0	[AUTO]
ミュージアム	[発光禁止]	AF／マクロ	OFF	0.0	[OFF]
モノクロコピー	発光禁止	AF／マクロ	OFF	0.0	[AUTO]
スポーツ	[発光禁止]	[AF]	[OFF]	0.0	[AUTO]

- （顔認識ポートレート）、（ポートレート）、（夜景ポートレート）では、電子ズームは使用できません。
- シーンモードでは、各モードに適した「**AF エリア選択**」のモードをカメラが自動的に設定します。
- （クローズアップ）時に中央付近以外の AF エリアが選択されている場合には、AF 補助光は照射されません。
- （パノラマアシスト）(P.38) 時は、「**デート写し込み**」機能は自動的にキャンセルされます。

ファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した画像または編集を行った画像は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます（例：DSCN0001.JPG）。最初の 4 文字は識別子を表しており、次の 4 桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の 4 文字はカメラの液晶モニターには表示されません。パソコンに画像を転送した場合に確認できます）。各ファイル名の最後には、画像のタイプを示す拡張子がつきます。

画像のタイプ		識別子	拡張子	P
撮影した画像	静止画	DSCN	.JPG	P.51
	動画	DSCN	.MOV	P.62
	微速度撮影した動画	INTN	.MOV	P.61
編集した画像	スモールピクチャーで作成した画像	SSCN	.JPG	P.98
	トリミングで作成した画像	RSCN	.JPG	P.56
	D- ライティングで作成した画像	FSCN	.JPG	P.94
録音した音声	音声メモ	DSCN、RSCN、SSCN、FSCN	.WAV	P.57

- ファイルを保存するフォルダーはカメラが自動的に作成し、フォルダー名には 3 桁のフォルダー番号がつけられます（例：100NIKON）。1 つのフォルダー内に 200 コマの画像がある場合には、最大のフォルダー番号に 1 を加えた新しいフォルダー（例：100NIKON → 101NIKON）を自動的に作成します。
- 「**パノラマアシスト**」（P.42）、「**UH 連写**」（P.82）、「**インターバル撮影**」（P.82）で撮影する場合は、撮影を行うたびにそれぞれ「XXXP_xxx」、「XXXN_xxx」、「XXXINTVL」フォルダー（例：101P_001、101N_001、101INTVL）が新しく作成され、一連の画像が保存されます。
- フォルダー内のファイル名の画像番号が 9999 に達した場合には、カメラが自動的にフォルダーを作成し、その新規フォルダー内で再び 0001 から連番をつけます。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合には、内蔵メモリー／ SD カードの記録容量に余裕があっても、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、必要な画像をパソコンに転送してから（P.64）内蔵メモリー／ SD カードを初期化（P.108）したのち「**設定クリアー**」（P.110）してください。

オートフォーカスが苦手な被写体 （P.28、89）

次のような場合、オートフォーカスではピント合わせができないことがあります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

タイムゾーンについて (P.102)

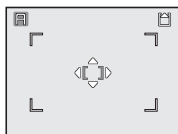
タイムゾーンと時差の関係は以下の通りです。訪問先と自宅との時差に 1 時間未満の端数がある場合は、「**日時設定**」（P.102）で訪問先の正確な時刻に合わせてください。

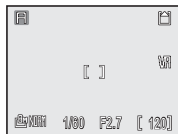
タイムゾーン（都市名）	時差
Tokyo, Seoul	0
Beijing, HK, Singapore	-1
Bangkok, Jakarta	-2
Colombo, Dhaka	-3
Islamabad, Karachi	-4
Abu Dhabi, Dubai	-5
Moscow, Nairobi	-6
Athens, Helsinki	-7
Madrid, Paris, Berlin	-8
London, Casablanca	-9
Azores	-10
Fernando de Noronha	-11
Buenos Aires, Sao Paulo	-12
Caracas, Manaus	-13

タイムゾーン（都市名）	時差
EST (EDT*): New York, Toronto, Lima	-14
CST (CDT*): Chicago, Houston, Mexico City	-15
MST (MDT*): Denver, Phoenix, La Paz	-16
PST (PDT*): Los Angeles, Seattle, Vancouver	-17
Alaska, Anchorage	-18
Hawaii, Tahiti	-19
Midway, Samoa	-20
Auckland, Fiji	+3
New Caledonia	+2
Sydney, Guam	+1

* 夏時間を設定した場合

AF エリアについて

- 動画モードのときは、中央の AF エリアを使用してピントを合わせます。「**AF エリア選択**」を設定することはできません。
- 電子ズーム（P.27）が作動している間は AF エリアの選択はできません。中央の AF エリアが使用されます。
- 「**マニュアル**」で撮影するときのご注意
  AF エリアが選択状態の場合は、フラッシュモード（P.30）、露出補正（P.34）、フォーカスモード（P.33）、セルフタイマー（P.32）は設定できません。OK ボタンを押して AF エリアの選択状態を解除してから各モードの設定を行ってください。各モードを設定したあと、AF エリアを変更したいときは再度 OK ボタンを押してください。

AF エリアの選択状態　　選択状態の解除

付録

ISO 感度（P.47）

オート （初期設定）	通常は ISO50 相当に設定されますが、低輝度時には自動的に感度が上がります（ISO200 相当まで）。
50	ISO50 相当
100	ISO100 相当
200	ISO200 相当
400	ISO400 相当

ホワイトバランス設定（P.48）

AUTO オート （初期設定）		照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット		撮影者が白の被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（P.49）。
晴天		晴れの日の撮影に適しています。
電球		白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	**FL1**	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。OK ボタンを押し、蛍光灯の種類に合わせて「**FL1**」（白色蛍光灯）または「**FL2**」（昼白色蛍光灯）を選び、OK ボタンを押します。
	FL2	
曇天		曇り空の下での撮影に適しています。
晴天日陰		晴れの日の日陰での撮影に適しています。
フラッシュ		フラッシュを発光させて撮影する場合に適しています。

オートパワーオフ機能（P.107）

オートパワーオフ機能が作動し、電源ランプが点滅中は、次の操作で電源 ON の状態に戻ります。

- 電源スイッチを押す。
- シャッターボタンを半押しする。
- ▶ ボタンを押す（ワイヤレス転送モード時以外は再生モードになります）。
- MENU ボタンを押す（各モードのメニュー画面などが表示されます）。

次の場合は、オートパワーオフ機能が作動するまでの時間が固定されます。

- 「**オートパワーオフ**」の設定が「**1分**」以下で、メニューが表示されている場合：3分
- スライドショーを再生している場合：30 分
- ワイヤレス転送モードの場合：3 分（ただし、画像データ転送中には自動的に電源が OFF になることはありません。）
- 別売りの AC アダプターキットを接続した場合：30 分

次の場合は、オートパワーオフ機能は作動しません。

- 付属の USB ケーブルを接続した場合

画像編集の制限

画像編集（トリミング、D-ライティング、スモールピクチャー）で作成された画像に対する画像編集には、次の表のような制限があります。

1 回目	2 回目		
	トリミング	D- ライティング	スモールピクチャー
トリミング	× *	×	×
D- ライティング	○	×	○
スモールピクチャー	×	×	×

* 2 回目の画像編集を行おうとした場合、「画像を保存できません」というメッセージが表示されます。

- 「**画像サイズ**」が「**3264 × 2176**」の画像および「**UH連写**」または「**インターバル撮影**」で撮影した画像には、画像編集ができません。

画像編集を適用する際は、以下の点にもご注意ください

- このカメラ以外で撮影された画像に対しては、このカメラでの編集を保証しておりません。
- このカメラで編集した画像を他機種で再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 内蔵メモリー／ SD カードに充分な空き容量がない場合、編集後の画像を保存できません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

主な仕様

ニコンデジタルカメラ COOLPIX P3

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		8.1 メガピクセル
撮像素子		1/1.8 型原色 CCD 総画素数　約 8.3 メガピクセル
記録画素数（pixel）		• 3264 × 2448［8M］ • 2592 × 1944［5M］ • 2048 × 1536［3M］ • 1024 × 768［PC］ • 640 × 480［TV］ • 3264 × 2176［3:2］
レンズ		3.5 倍 ズームニッコールレンズ
	焦点距離	7.5-26.3 mm （35 mm 判換算 36-126 mm 相当の撮影画角）
	絞り	F2.7-5.3（6 群 7 枚構成）、レンズカバー付
手ブレ補正		レンズシフト方式
電子ズーム		最大 4 倍（35 mm 判換算で約 504 mm 相当の撮影画角）
オートフォーカス		コントラスト検出方式 TTL AF、マルチエリア AF 可能
	撮影距離	ズームのワイドポジションでレンズ前　約 30 cm ～∞（マクロモード時は約 4 cm ～∞）
	AF エリア	オート（11ヵ所自動選択）、マニュアル（99ヵ所任意選択）、中央
	AF 補助光	クラス 1 LED 製品（IEC 60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値 3,050 μW
液晶モニター		2.5 型アモルファスシリコン TFT 透過型液晶、150,000 画素、輝度調節機能（5 段階）付き
	視野率（撮影時）	上下左右とも約 98％（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約23MB）、SD メモリーカード
	画像ファイル	DCF（Design rule for Camera File System）、Exif 2.2、DPOF（Digital Print Order Format）準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 FINE（約 1/4 圧縮）、NORMAL（約 1/8 圧縮）、 BASIC（約 1/16 圧縮） 動画：QuickTime 音声：WAV

項目		仕様
露出		
	測光方式	TTL 測光方式 • 256 分割マルチパターン測光 • スポット測光 • 中央部重点測光 • AF スポット測光
	露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、絞り優先オート 露出補正（－ 2 ～＋ 2EV、1/3EV ステップ）、オートブラケティング可能
	露出連動範囲	広角側：2～17EV 望遠側：3～16EV （感度設定：オート時）
シャッター		メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
	シャッタースピード	8 ～ 1/2000 秒（ズームのワイドポジション）
絞り		6 枚羽根虹彩絞り
	制御段数	10（1/3EV ステップ）
ISO 感度		ISO50 相当、感度切り換え可能（オート、ISO50、ISO100、ISO200、ISO400 相当）
セルフタイマー		約 10 秒、約 3 秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲	広角側：約0.4～4.0 m、望遠側：約0.4～2.0 m（ISO感度設定オート時）
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		USB、IEEE 802.11b/g
ビデオ出力		NTSC、PAL から選択可能
入出力端子		オーディオビデオ出力（A / V OUT）/ デジタル端子（USB）
表示言語		チェコ語、デンマーク語、ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、インドネシア語、イタリア語、オランダ語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、フィンランド語、スウェーデン語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、から選択可能
電源		• リチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池）1 個（付属） • AC アダプターキット EH-62A（別売）
撮影可能コマ数 *1（電池寿命）		約 200 コマ（EN-EL5 使用時）
寸法		約 92（W）× 61（H）× 31（D）mm（突起部除く）
質量（重さ）		約 170 g（バッテリー、SDカード除く）
動作環境		
	温度	0 ～ 40 ℃
	湿度	85%以下（結露しないこと）

*1 CIPA 規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。
測定条件は、25 ℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画質「**NORMAL**」、画像サイズ「8M **3264 × 2448**」、手ブレ補正機能「ノーマル」です。

ワイヤレス転送部		
	準拠規格	IEEE 802.11b/g（無線 LAN 標準プロトコル） ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格）
	伝送方法	IEEE 802.11g ：OFDM IEEE 802.11b ：DBPSK、DQPSK、CCK
	通信距離（見通し）	約 30 m ※通信距離は遮蔽物や天候等により影響されます。
	使用周波数範囲（中心周波数）	2,412 ～ 2,462MHz（11 チャンネル）
	データ転送速度（規格値 *2）	IEEE 802.11g : 54M/48M/36M/24M/18M/12M/9M/6M (bps) IEEE 802.11b : 11M/5.5M/2M/1M (bps)
	セキュリティー	128/64 bit WEP、TKIP
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード / アドホックモード

*2 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、付属のリチャージャブルバッテリーEN-EL5 をフル充電で使用時のものです。

バッテリーチャージャー **MH-61**

電源	AC 100 － 240 V　50/60 Hz　0.12 － 0.08 A
定格入力容量	11 － 16 VA
充電出力	DC 4.2 V 950 mA
使用可能な充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
充電時間	約 2 時間 （残量のない状態からの充電時間）
使用温度	0 ～ 40 ℃
寸法	約 67（W）× 26（H）× 67（D）mm
電源コード	長さ約 1.8 m、日本国内専用 AC100V 対応
質量（重さ）	約 65 g（電源コードを除く）

Li-ion リチャージャブルバッテリー **EN-EL5**

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC3.7 V 1,100 mAh
寸法	約 36（W）× 54（H）× 8（D）mm（突起部除く）
質量（重さ）	約 30 g（端子カバーを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

DCF（Design rule for Camera File system）について

このカメラは、DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
DCF は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

DPOF（Digital Print Order Format）について

DPOF （Digital Print Order Format）はデジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、撮影情報、日付の情報をメモリーカードに記録するためのフォーマットです。「プリント指定」どおりにプリントする場合は、デジタルプリントサービス取扱店またはご使用のプリンターが DPOF に対応しているか、あらかじめご確認ください。

Exif（Exchangeable image file format）Version 2.2 について

このカメラは、Exif Version 2.2 に対応しています。Exif Version 2.2 は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2 対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報を活かし、プリンターが最適なプリント出力を提供できます。
プリンターの使用説明書を読んでご使用ください。

索引

さ

た

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコンサービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX 03 - 5977 - 7499

【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　　□会社
〒

TEL：

FAX：

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：

そのほか接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

技術的なお問い合わせのご案内

製品の操作に関する技術的なお問い合わせは、下記のニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

全国共通
☎ 0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

ニコン宅配修理サービスのご案内

修理品梱包資材のお届けから修理品のお引き取り、修理後の製品のお届けまでのサービスは下記をご利用ください。（有料サービス）

＜ニコン宅配修理サービスお申し込み専用窓口＞

0120 FreeDial **☎ 0120-868-545**

携帯電話やPHS等からのご利用はできません。
営業時間：**9:30～17:30**（土・日・祝日を除く毎日）年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

なお、上記フリーダイヤルでは宅配修理サービス関連以外のご案内は行っておりません。

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in China
TR5L01(10)
6MA17610-01